
寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について

◎ 今回の事業評価について

1. 事業概要
2. 事業の必要性等に関する視点
3. 事業進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 特記事項
6. 対応方針(原案)

今回の建設事業評価について

- 大阪府では、建設事業の効率性及び実施過程の透明性の一層の向上を図るため、建設事業評価を実施。
- 河川事業・ダム事業については、大阪府河川整備審議会にて事業評価を実施。
 (「大阪府河川事業・ダム事業の事業評価(平成28年7月 大阪府都市整備部河川室)」)

《事業評価について》

	再評価(再々評価)
目的	事業継続の妥当性を判断するとともに、より効率的な実施方法等を検討する。
対象	総事業費10億円以上の事業
評価時期	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の大幅な変更 ① ・事業採択後5年未着工、事業採択後10年継続 ・再評価後5年継続毎(事業未着工のものは除く) ・総事業費の大幅な変更 ・その他評価の必要が生じた事業
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗状況(事業計画等の変更及び今後の進捗見直しを含む) ・事業を巡る社会経済情勢の変化 ・費用便益分析等の効率性 ・安全・安心、活力、快適性等の有効性 ・自然環境等への影響と対策
審議方法	<ul style="list-style-type: none"> ①の場合は、河川整備計画(案・変更案)の審議・了承 ②の場合は、再評価(再々評価)調書により審議

※「大阪府河川事業・ダム事業の事業評価(平成28年7月 大阪府都市整備部河川室)」より抜粋

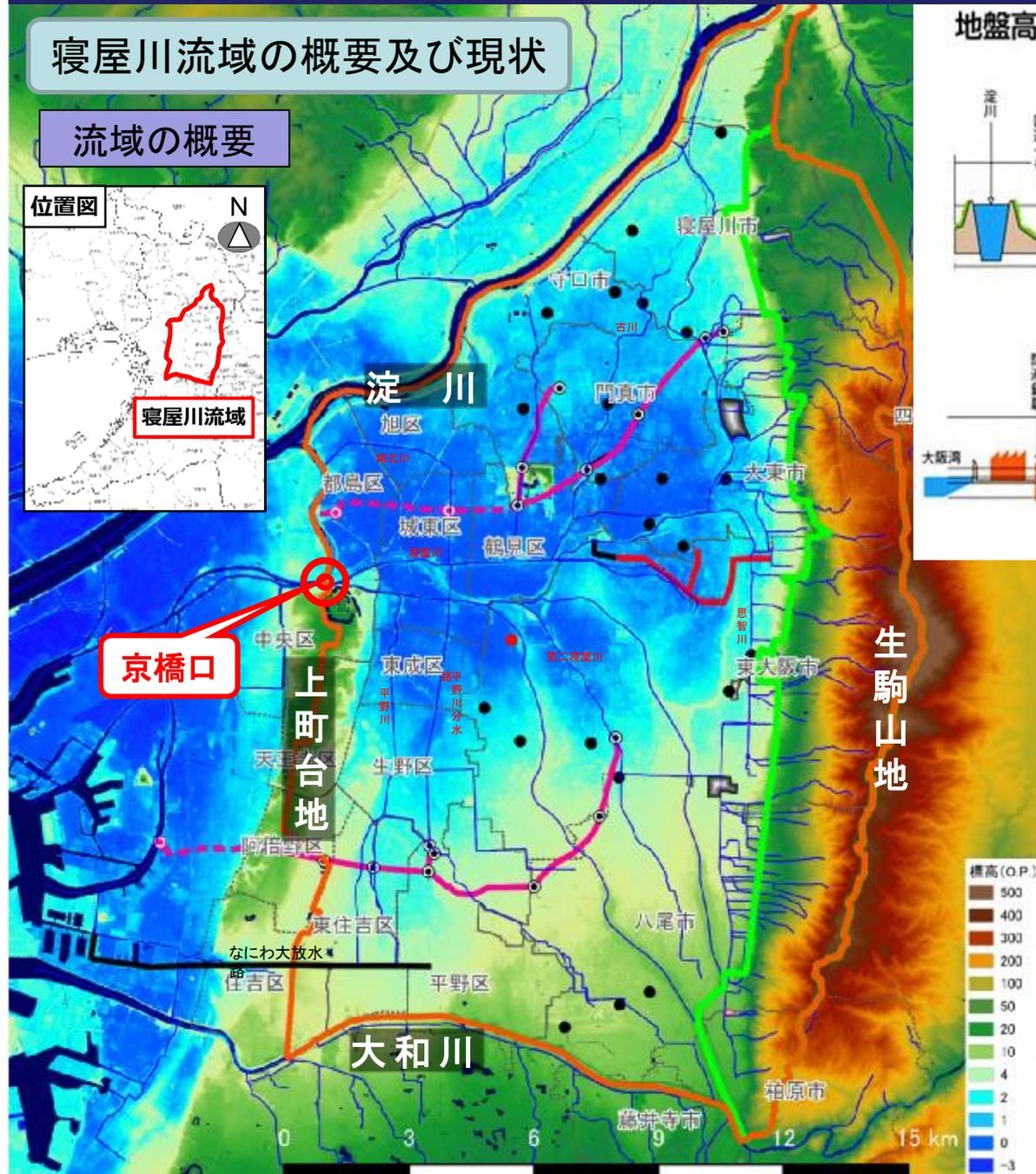
《寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について》

- 寝屋川流域総合治水対策事業については、「淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画」を平成24年度に審議、平成27年度に策定。
- 平成29年度の再評価後5年を経過することから、令和4年度に事業評価を実施。

1. 事業概要

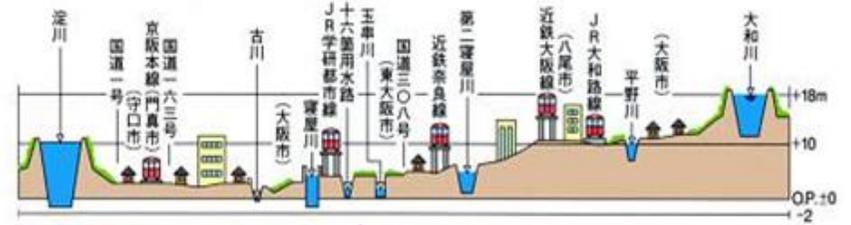
寝屋川流域の概要及び現状

流域の概要



地盤高断面図

南北方向



東西方向



寝屋川流域の情勢

流域面積：267.6km²
(府面積の約14%)

流域人口：約273万人
(府人口の約31%)

流域資産：約57兆円
(府資産の約29%)

(H27年国勢調査およびH29年経済センサスに基づく)

寝屋川流域の地形

- 寝屋川流域は、大部分が低平地
- 流域の約3/4が雨水が自然に河川に流れ込まない「内水域」
- 雨水を下水道で集め、ポンプで強制的に河川へ排水

1. 事業概要

寝屋川流域の概要及び現状

流域の現状

- 流域には大小30の河川が存在し、全てが寝屋川に合流し、流域唯一の出口である京橋口を経て大川に合流します。
- 寝屋川は非常に緩やかで、生駒山麓付近まで潮位の影響を受ける感潮河川です。

①寝屋川（下流部）



②寝屋川（中流部）



③城北川



④古川



⑤恩智川（下流部）



⑥恩智川（中流部）



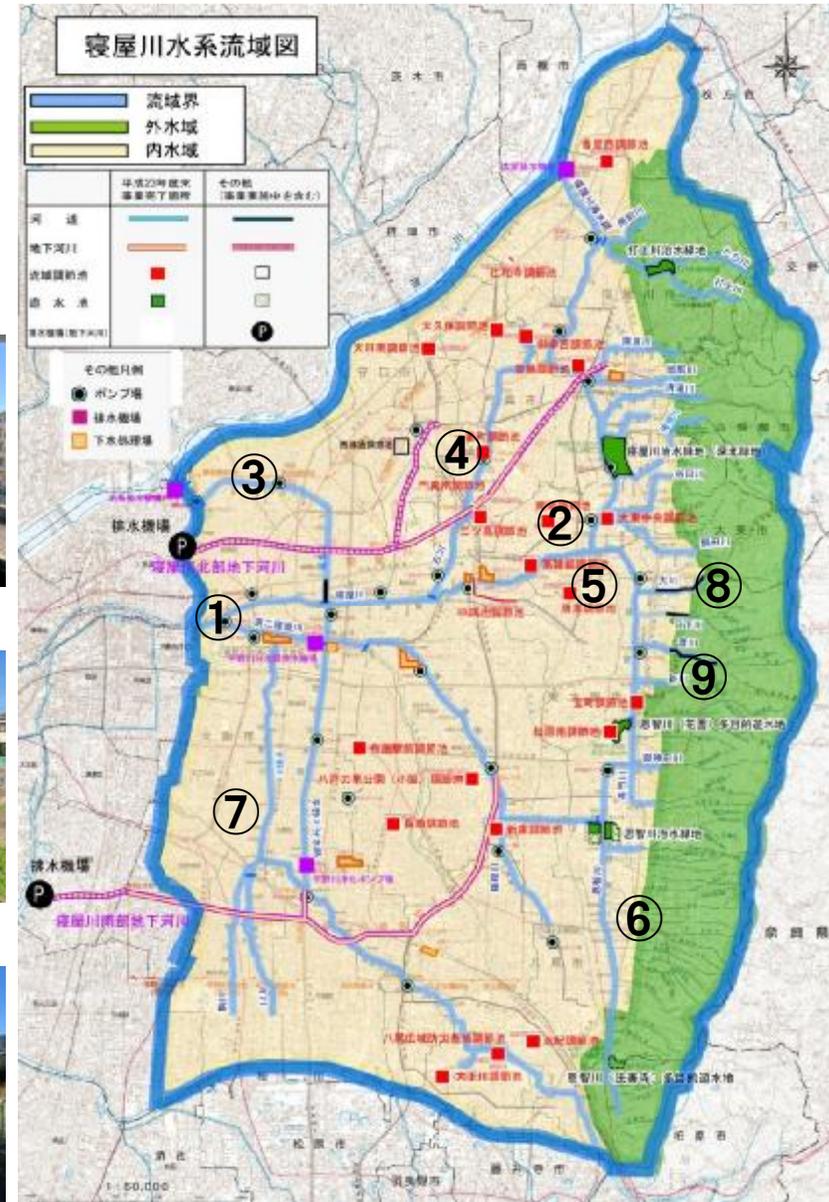
⑦平野川



⑧大川



⑨音川



1. 事業概要

過去の水害実績

年 月 日	気象要因	流域最大降雨量		浸水被害		
		時間最大 (mm)	総雨量 (mm)	床上 (戸)	床下 (戸)	計 (戸)
昭和27年7月11日	梅雨前線	25.6	214.0	2,636	43,416	46,052
昭和28年9月25日	台風13号	38.0	192.0	3,200	48,553	51,753
昭和32年6月26日	梅雨前線・台風5号	62.9	326.1	—	—	111,774
昭和42年7月8日	梅雨前線	41.5	129.0	894	22,796	23,663
昭和47年7月12～13日	梅雨前線	20.0	237.5	6,138	37,273	43,411
昭和47年9月15～16日	台風20号	47.5	115.0	8,902	52,505	61,407
昭和54年6月27日～7月2日	梅雨前線	25.0	268.5	1,044	12,043	13,087
昭和54年9月30日～10月1日	台風16号	66.0	96.0	4,045	23,691	27,736
昭和57年8月2～3日	台風10号・低気圧	39.5	150.5	6,778	43,262	50,040
平成元年9月14日	秋雨前線	49.0	75.5	68	3,600	3,668
平成7年7月2～6日	梅雨前線	32.0	290.0	14	2,026	2,040
平成9年7月13日	梅雨前線	42.0	114.0	61	3,767	3,828
平成9年8月5日	低気圧	61.0	75.0	67	3,135	3,202
平成9年8月7日	前線	80.0	116.0	359	8,854	9,213
平成11年8月10～11日	熱帯低気圧	56.0	244.0	364	3,116	3,480
平成11年9月17日	局地的豪雨	88.0	106.0	85	3,872	3,957
平成15年5月8日	前線	47.0	80.0	15	611	626
平成24年8月14日	局地的豪雨	111.0	159.0	2,554	17,080	19,634
平成29年7月9日	局地的豪雨	104.0	112.0	15	103	118

1. 事業概要

過去の水害実績

■昭和32年6月梅雨前線・台風5号豪雨(戦後最大の豪雨)



東大阪市稲田楠根連絡所付近



近鉄奈良線 八戸の里駅付近

時間最大62.9mm、総雨量326.1mm、床上・床下浸水 111,774戸(災害救助法適用、死者6名)

■昭和47年7月梅雨前線豪雨(大東市内)



時間最大 20.0mm、総雨量 237.5mm、床上 6,138戸、床下浸水 37,273戸

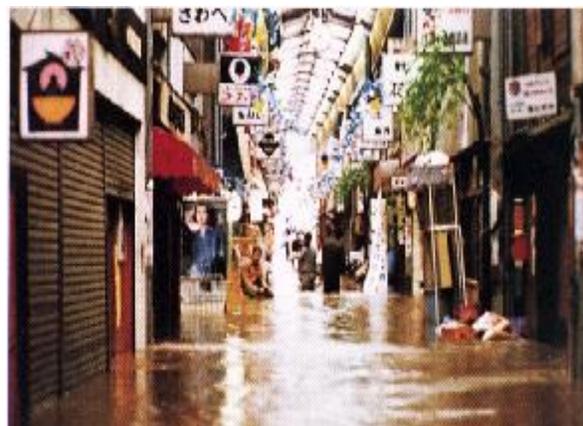
1. 事業概要

過去の水害実績

■昭和57年8月 台風10号豪雨



東住吉区



大東市



大東市(恩智川竹橋上流)

時間最大 39.5mm、総雨量 150.5mm、床上 6,778戸、床下浸水 43,262戸

■平成7年7月 梅雨前線豪雨



東大阪市内

床上 14戸、床下浸水 2,026戸

■平成9年8月 前線豪雨



八尾市内

床上 359戸、床下浸水 8,854戸

■平成15年5月 前線豪雨



寝屋川市内

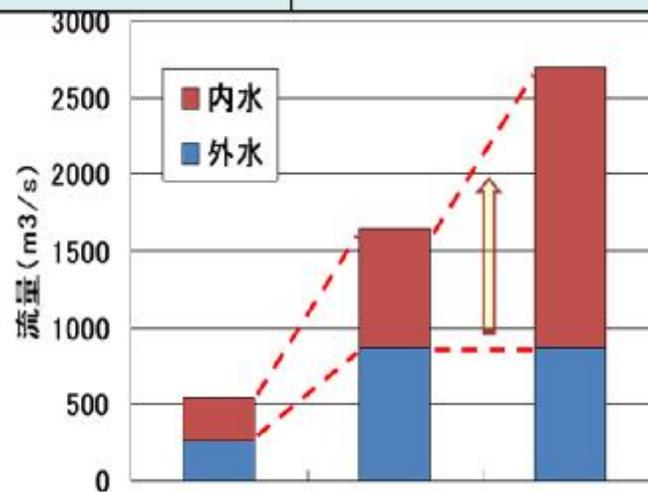
床上 15戸、床下浸水 611戸

1. 事業概要

寝屋川流域の概要及び現状

計画の沿革

	第1次計画 昭和29年～	第2次計画 昭和51年～	第3次計画(全体計画) 昭和63年～
時間最大降雨 24時間降雨 流域基本高水の ピーク流量	61.8mm/hr } M29.8.30 175.6mm/day } 最大実績雨量 536m ³ /s	62.9mm/hr } S32.6.26 311.2mm/day } 最大実績雨量 1650m ³ /s	62.9mm/hr } S32.6.26 311.2mm/day } 最大実績雨量 2700m ³ /s
主な洪水処理方策	<ul style="list-style-type: none"> 第二寝屋川新川開削 平野川分水路新川開削 	<ul style="list-style-type: none"> 河床掘削、矩形断面 分水路 (城北川、寝屋川導水路) 遊水池 (寝屋川治水緑地、恩智川治水緑地、打上川治水緑地) 	<ul style="list-style-type: none"> 地下河川(北部、南部) 流域調節池 流域対策



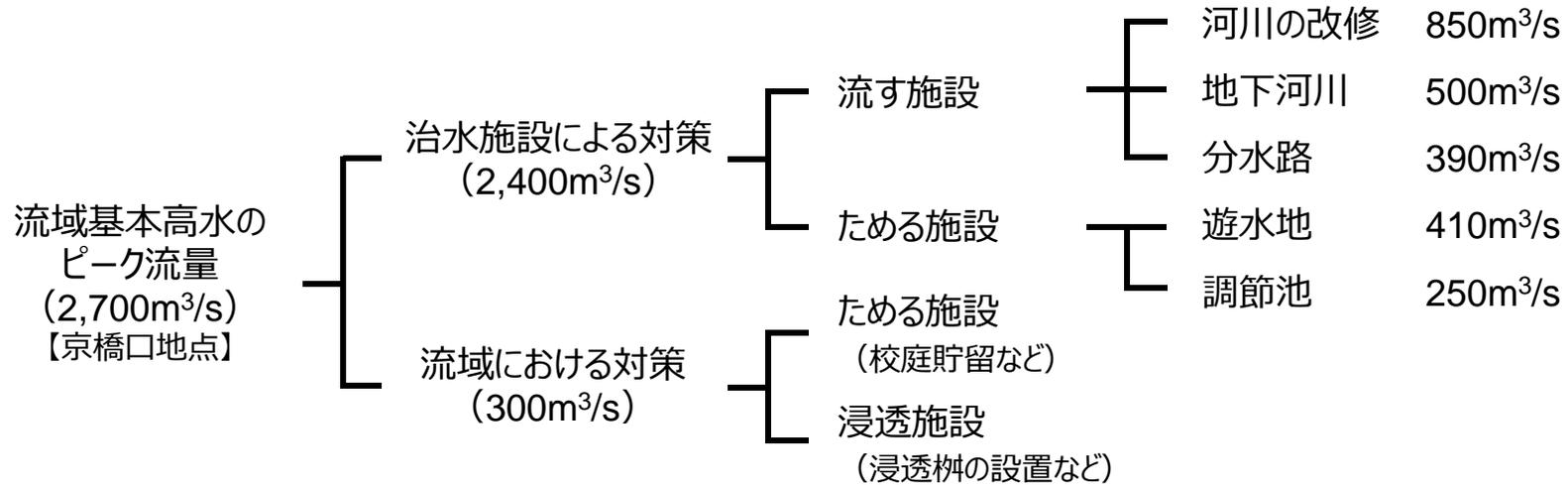
※ 第2次計画から第3次計画への変更は、内水域からの流量増に対応するもの

第1次計画 第2次計画 第3次計画 (全体計画)

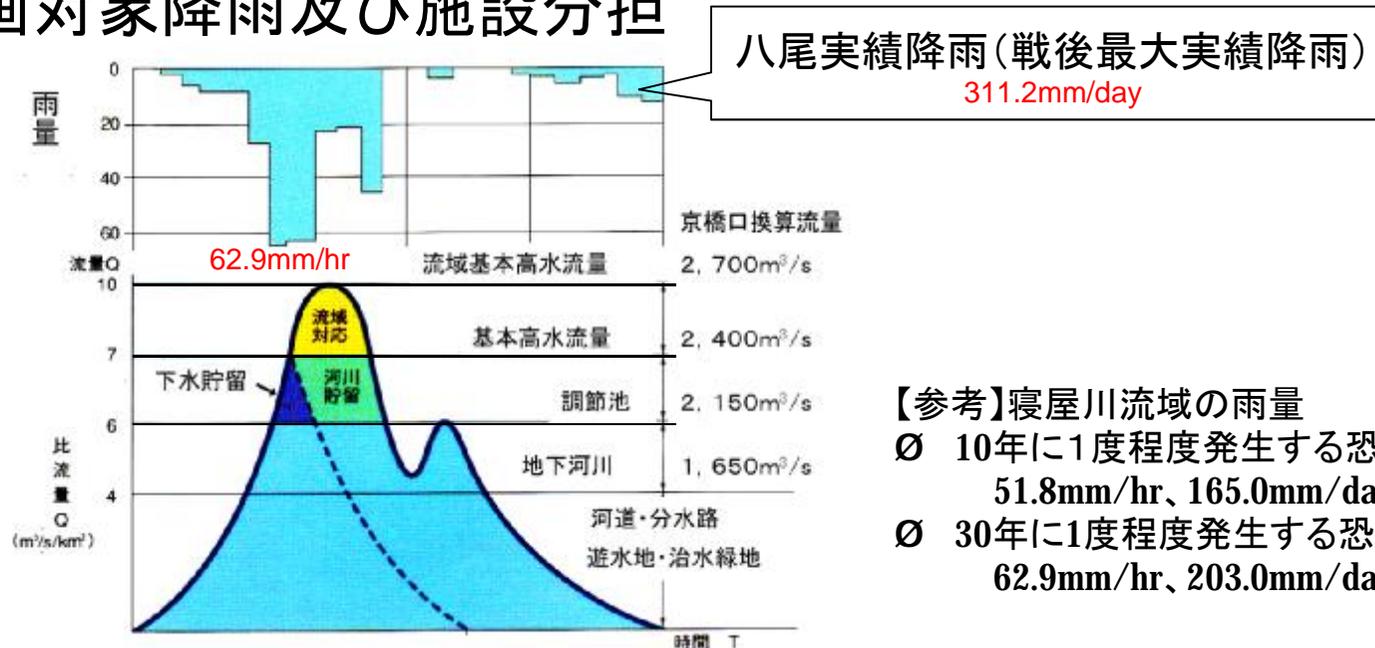
(流域)基本高水のピーク流量

1. 事業概要

■ 流量分担計画 (第3次計画)



■ 計画対象降雨及び施設分担



【参考】寝屋川流域の雨量

- 10年に1度程度発生する恐れがある雨量: 51.8mm/hr、165.0mm/day
- 30年に1度程度発生する恐れがある雨量: 62.9mm/hr、203.0mm/day

1. 事業概要

総合治水対策

河川の改修



改修前(S46)

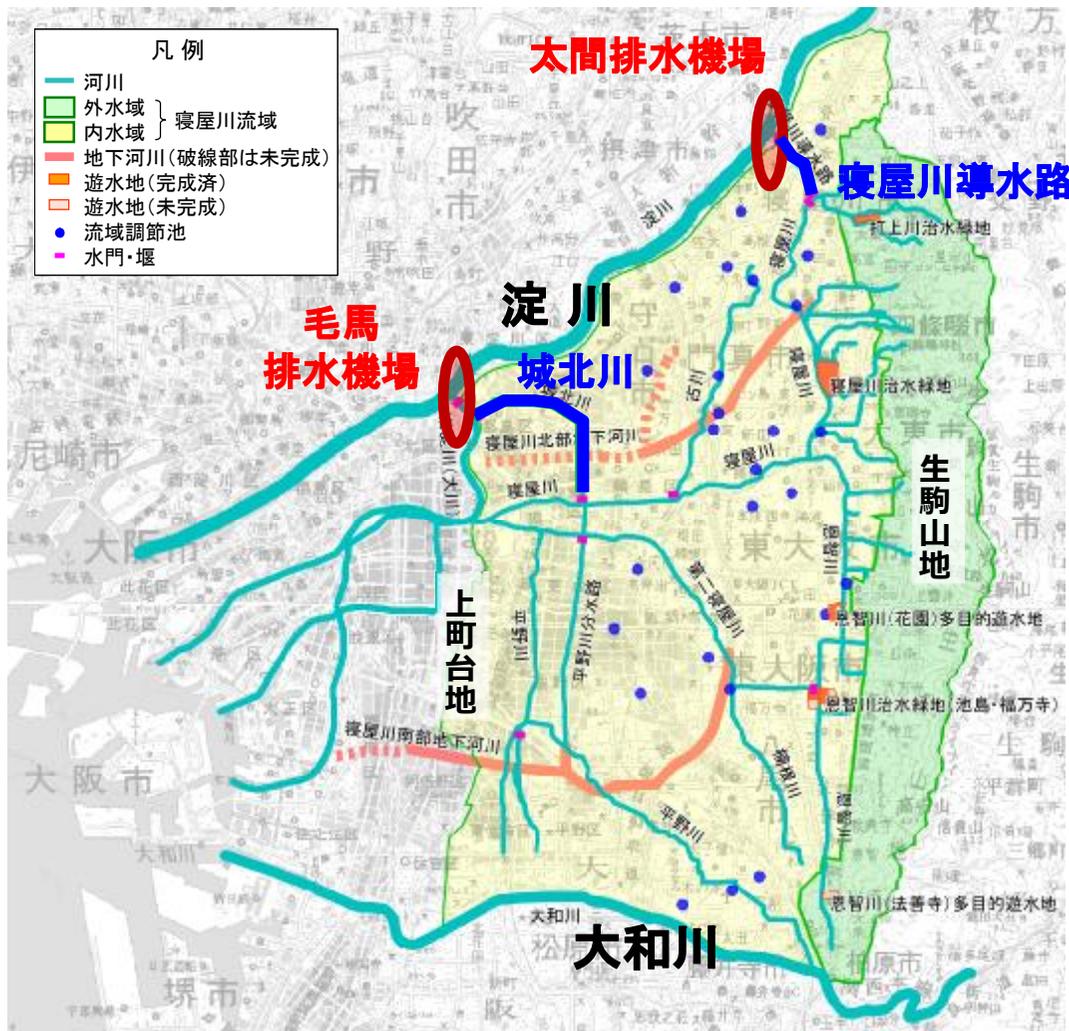


改修後(H12)

1. 事業概要

総合治水対策

分水路



太間排水機場
(S55 I期、H8 II期完成)



毛馬排水機場(S56 完成)

1. 事業概要

総合治水対策

地下河川



地下河川イメージ図



平成30年7月豪雨 (貯留時)

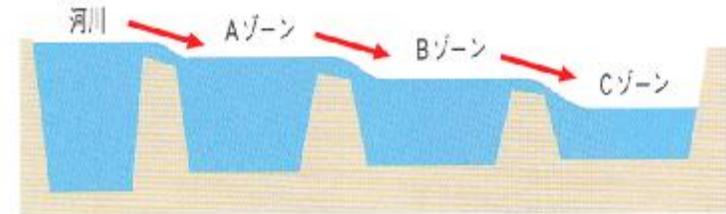


寝屋川南部地下河川

1. 事業概要

総合治水対策

遊水地



遊水地イメージ図

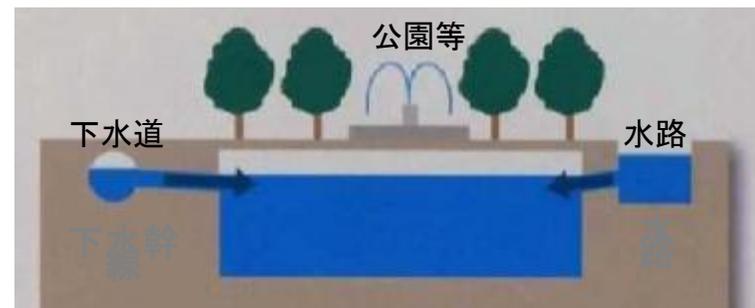
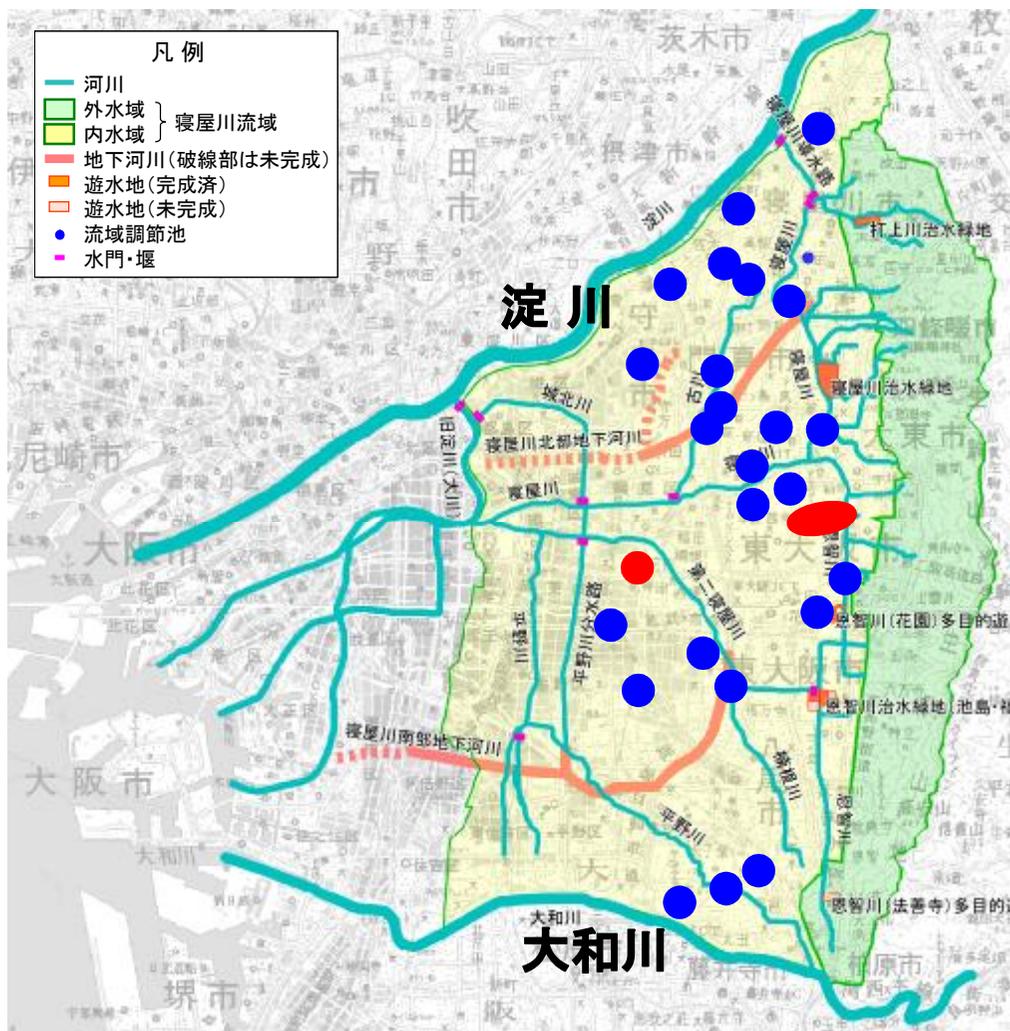


寝屋川治水緑地

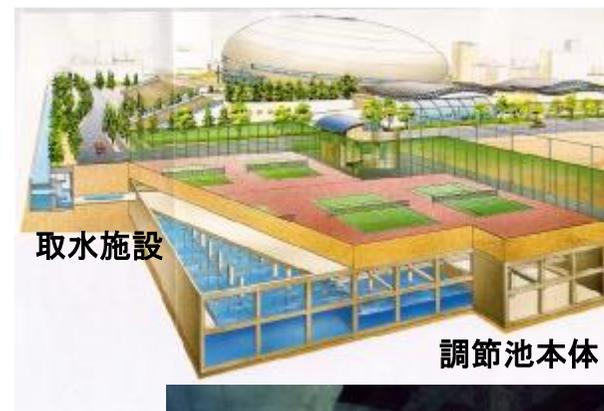
1. 事業概要

総合治水対策

流域調節池



流域調節池イメージ図



三ツ島調節池

1. 事業概要

淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画

○ 寝屋川流域では、当面の治水目標(令和26年度まで)を、時間雨量50mm程度の降雨(10年に1度程度の確率規模の降雨)に対して床下浸水を防ぐとともに、時間雨量65mm程度の降雨(30年に1度程度の確率規模の降雨)に対して床上浸水を防ぐこととしている。

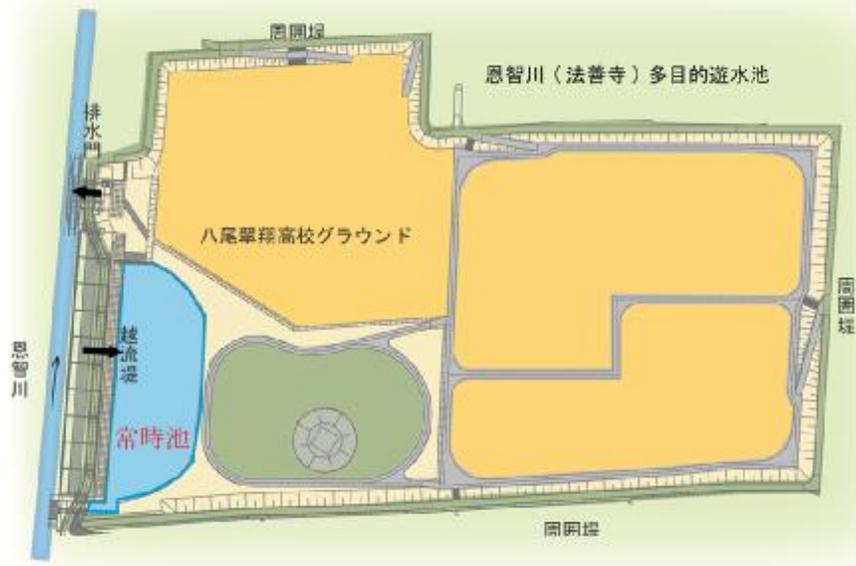
分類	河川名	工事实施箇所及び区間	事業内容	延長等
外水対策	寝屋川	JR学研都市線及び大阪外環状鉄道 寝屋川橋梁部	河川改修	L=50.8m 【完成】
	平野川分水路	JR学研都市線及び大阪外環状鉄道 城東運河橋梁部	河川改修	L=20.2m 【完成】
	恩智川	三箇大橋	橋梁改築	1箇所 【完成】
		薬師橋下流～近鉄信貴線	河川改修、環境整備	L=1.2km (残延長 L=0.6km)
	大川	旧国道170号～上流端	河川改修	L=0.7km
	音川	旧国道170号～上流約0.4km	河川改修	L=0.4km
	城北川	西大宮橋、新森小路橋	橋梁改築	2箇所 【完成】
	日下川	中前橋～国道170号	調査・検討	L=0.2km
	讃良川	寝屋川合流点～上流約1.4km	調査・検討、河川改修	L=0.5km
	岡部川	讃良川合流点～四條畷市境	調査・検討、河川改修	L=0.3km
内水対策	恩智川	恩智川治水緑池(池島・福万寺)	遊水地	越流堤高切下げ
		恩智川(法善寺)多目的遊水地	遊水地	貯留量7.4万m ³
	寝屋川北部地下河川	門真調節池	地下河川	L=2.9km、内径5.4m 【完成】
		守口調節池	地下河川	L=3.1km、内径5.1m～4.9m 【完成】
		鶴見調節池	地下河川	L=1.7km、内径9.0m
		都島調節池	地下河川	L=2.9km、内径11.5m
	寝屋川南部地下河川	排水機場	地下河川	85m ³ /s
		岸里調節池	地下河川	L=2.2km、内径9.8m
	流域調節池(約40.0万m ³)	排水機場	地下河川	120m ³ /s
		西郷通調節池	調節池	貯留量4.00万m ³ 【完成】
	萱島B、守口、東野田、四条、中浜東、長吉、片江、太平、平野市町、新家、小阪合、その他	調節池	必要量 約36.00万m ³	
その他事業	寝屋川	打上川治水緑地下流ほか	親水空間整備	L=0.3km
		古川合流点～戎大黒橋上流	底質汚泥除去	L=2.5km
	平野川	平野川橋～本郷橋	礫間浄化	L=0.5km
		千歳橋下流～都橋	底質汚泥除去	L=2.0km
	古川	古川大橋下流～三ツ島大橋	底質汚泥除去	L=2.0km

1. 事業概要

淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画

河川整備の内容(遊水地の整備)

恩智川(法善寺)多目的遊水地【八尾市・柏原市】



越流堤、排水門、池床掘削、周囲堤などの整備により、7.4万m³を貯留します。

大雨等で恩智川の水位が上がった時に河川水を一時的に遊水地に貯留



恩智川の水位が下がった後に遊水地に貯留した水を恩智川に戻す



1. 事業概要

淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画

河川整備の内容(流域調節池)

河川整備計画目標972.7千m³の確保に向け、残り約360千m³の貯留容量を確保するため、布施公園調節池や加納元町調節池を整備中。



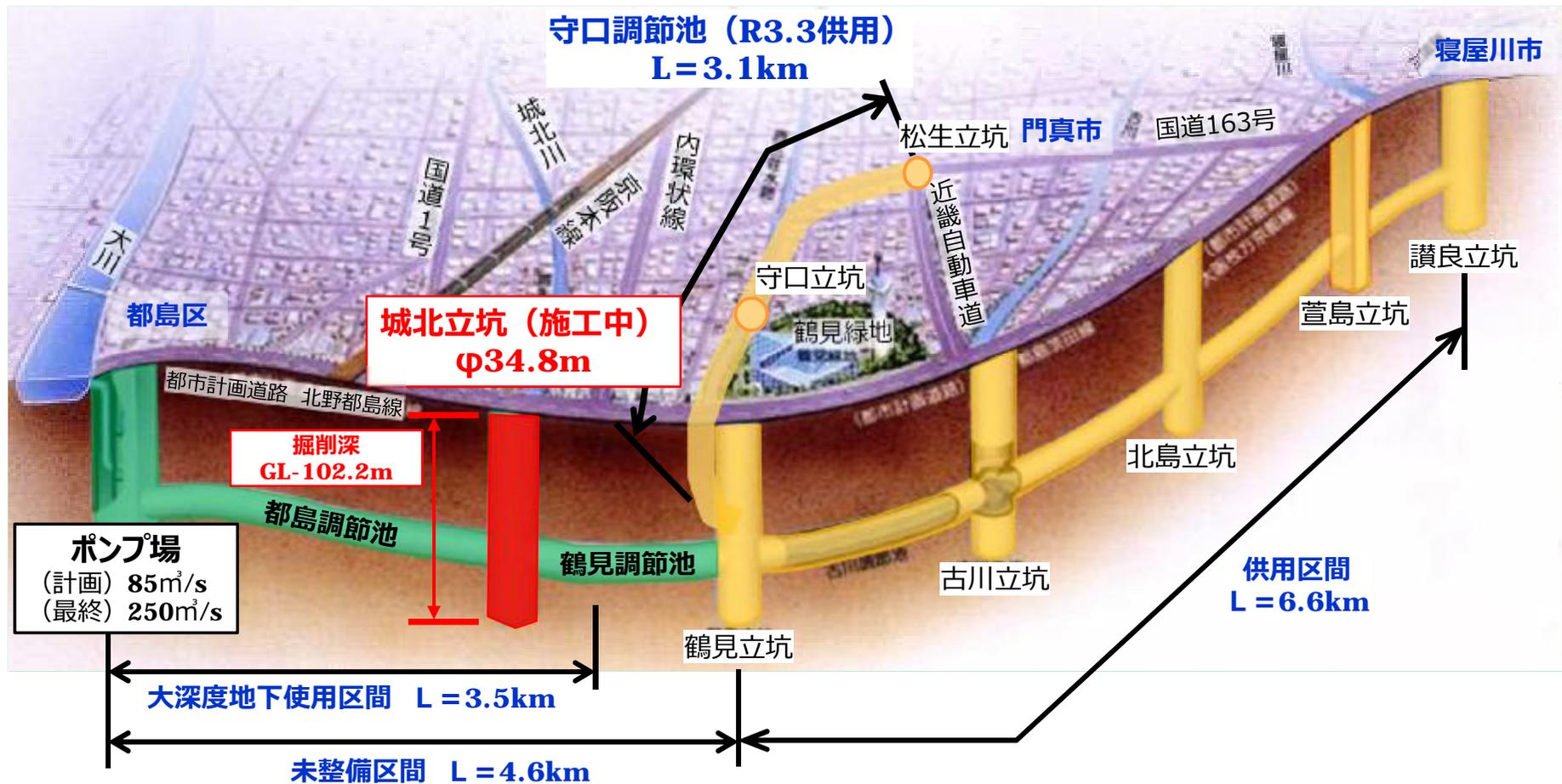
	調節池名	設置市	貯留量 (千m ³)	上面利用	概成
完成 (24 箇 所)	香里西	寝屋川市	8.0	香里西公園	H3.3
	大正川	八尾市	14.0	保育所	H4.3
	志紀	八尾市	10.0	志紀住宅内の広場	H7.3
	布施駅前	東大阪市	12.0	駅前広場	H8.3
	三ツ島	門真市	24.0	青少年広場	H7.10
	南郷	大東市	10.0	南郷公園	H9.8
	長瀬	東大阪市	23.0	広場	H10.3
	御幸西	寝屋川市	20.0	御幸西住宅内の広場	H12.6
	中鴻池	東大阪市	20.1	水路(下水道事業)	H12.7
	一番町	門真市	15.0	門真運転免許試験場	H13.6
	萱島	寝屋川市	26.0	市有地	H15.12
	八尾広域防災基地	八尾市	32.0	八尾広域防災基地	H15
	大久保	守口市	16.0	大久保中央公園	H17.3
	東諸福	大東市	26.0	東諸福公園	H17.6
	八戸の里公園	東大阪市	36.7	八戸の里公園	H18.7
	宝町	東大阪市	22.0	グラウンド利用	H19.10
	松原南	東大阪市	33.0	近鉄ラグビー練習場	H21.4
	大東中央	大東市	56.9	大東中央公園	H21.6
	仁和寺	寝屋川市	16.0	千里丘寝屋川線	H22.4
	大日南	守口市	20.0	大日中央公園	H22.4
	朋来	大東市	47.0	朋来中央公園	H22.7
	門真南	門真市	35.0	第二京阪道路	H22.7
	新家	八尾市	50.0	市民運動広場	H22.9
	西郷通	守口市	40.0	守口市立樟風中学校	H26.12
合計			612.7		
事業中	布施公園	東大阪市	18.0	公園	R7予定
	加納元町(I期)	東大阪市	27.0	道路	R9予定
	加納元町(II期)	東大阪市	12.0	道路	R13予定

1. 事業概要

淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画

河川整備の内容(寝屋川北部地下河川)

鶴見立坑～讚良立坑 } 暫定供用中(貯留容量26万 m^3)
鶴見立坑～松生立坑 }
ポンプ場～鶴見立坑 } 大深度地下使用による整備



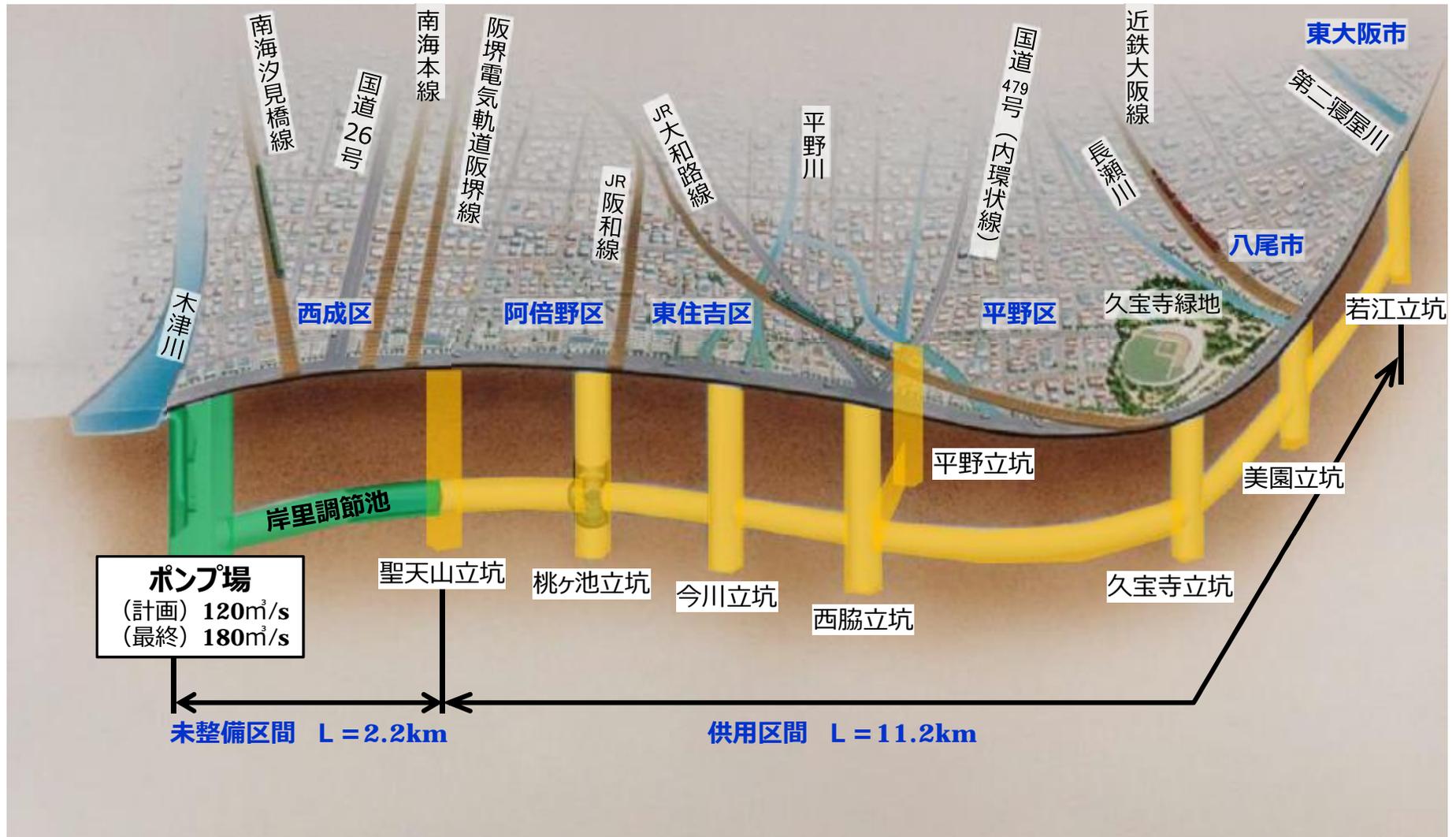
1. 事業概要

淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画

河川整備の内容(寝屋川南部地下河川)

聖天山立坑～若江立坑
ポンプ場～聖天山立坑

暫定供用中(63万m³)
大阪市街路事業と共同で用地
買収を推進中



1. 事業概要

事業費の変更

(億円)

		前回評価時点 (H29)	今回評価 (R4)	増減
全体事業費		8,877	10,192	1,315
工事費 内訳	河道	1,373	1,370	▲3
	分水路	715	715	0
	遊水地	1,391	1,391	0
	地下河川	3,660	4,426	766
	流域調節池	1,738	2,290	552

●投資済事業費(R3年末) 約6,508億円

●事業費の変更 約1,315億円増

【北部地下河川】 約766億円増

- 計画土被り増加(36~59m⇒36~70mに見直し)によるセグメント厚見直し(305⇒500mm)に伴い、コンクリート量、鋼材重量が増加
- コンクリート単価の上昇(H25年:12,500円/m³ →R2年:20,000円/m³)

【流域調節池】 約552億円増

- 直近の整備実績に基づき、残事業費を算出(m³当たりの建設費 187千円 →341千円)

(参考)北部地下河川 城北立坑築造工事における労務単価、資材単価
⇒労務単価:7.2%上昇、資材単価:38.0%上昇(R1→R4)

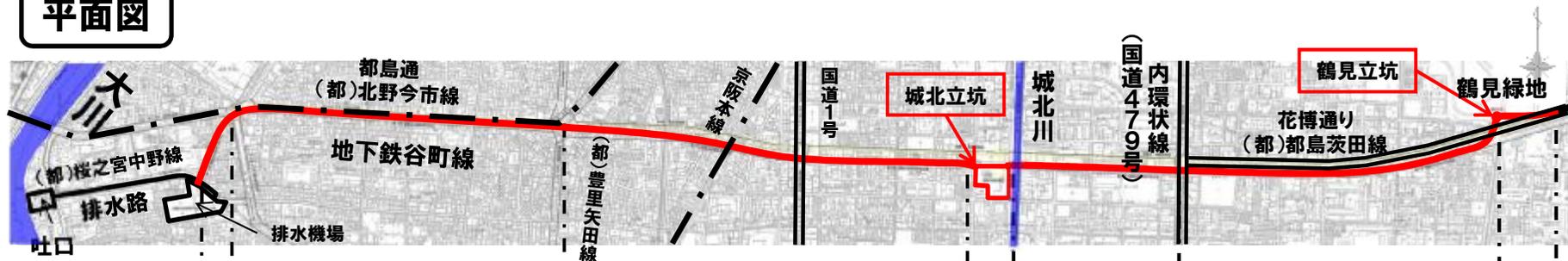
1. 事業概要

事業費の変更

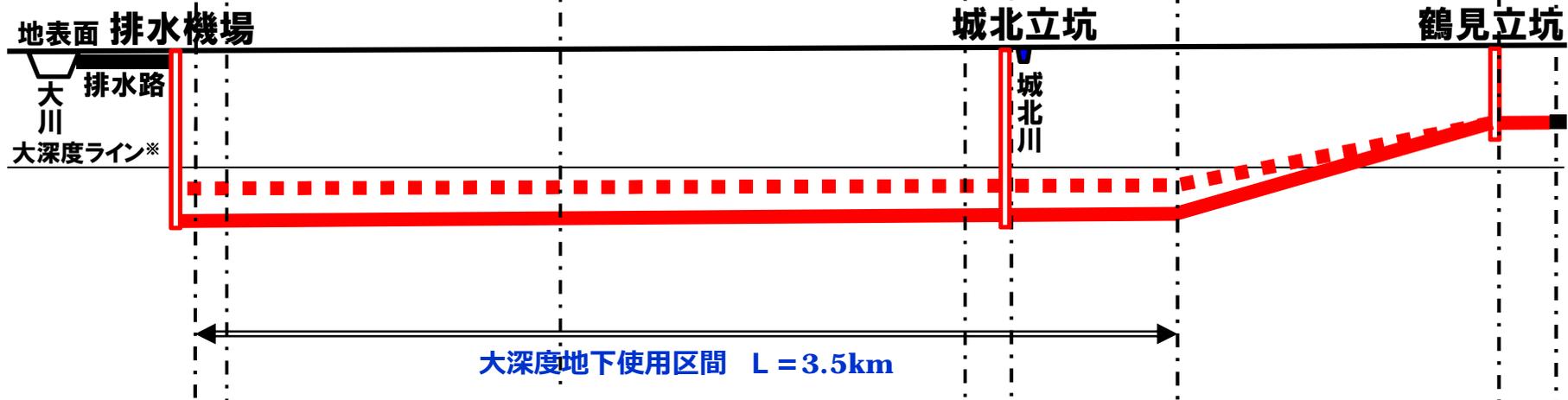
寝屋川北部地下河川

- 平成31年3月に取得した大深度地下使用の認可内容に基づき変更。
- 土被り増加(36~59m⇒36~70mに見直し)によるセグメント厚見直し(305⇒500mm)

平面図



縦断面図



2. 事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会情勢等の変化 (人口、世帯数、事業所等)

流域12市(大阪市・守口市・枚方市・八尾市・寝屋川市・大東市・柏原市・門真市・藤井寺市・東大阪市・四條畷市・交野市)の人口については府全域と同様に**微減**、世帯数については府全域と同様に**約4%の増加**。

	平成29年		令和3年		増減率		備考
	12市	大阪府	12市	大阪府	12市	大阪府	
人口(人)	4,756,046	8,831,642	4,738,206	8,817,372	▲0.4%	▲0.2%	
世帯数	2,286,203	4,000,180	2,378,306	4,164,292	+3.8%	+3.9%	
事業所数	257,930 ^{※1}	392,940 ^{※1}	248,552	377,959	▲3.6%	▲3.8%	※1 H28年値
就業者数(人)	2,987,854 ^{※1}	4,393,139 ^{※1}	3,067,128	4,491,328	+2.7%	+2.2%	※1 H28年値
高齢者(人)	1,224,522 ^{※1}	2,278,324 ^{※1}	1,304,932 ^{※2}	2,441,984 ^{※2}	+6.6%	+7.2%	※1 H27年値, ※2 R2年値 (国勢調査結果 65歳以上)
高齢者率	25.7	25.8	27.5	27.7	+1.8%	+1.9%	

出典: 令和3年度大阪府統計年鑑(令和4年3月刊行)

事業を巡る社会情勢等の変化 (洪水発生時の影響)

これまでの治水対策より浸水被害が軽減しているが、依然として大きな被害が発生するため、今後も整備を進めていく必要がある。

		前回評価時点 (H29)	今回評価 (R4)
寝屋川流域	浸水想定面積	約3,643ha	約3,520ha
	浸水区域内人口	約45.3万人	約43.8万人
	浸水区域内世帯数	約20.5万世帯	約19.8万世帯

※整備計画で目標とする時間雨量65ミリ程度(1/30年確率降雨)の降雨が発生した場合の最大浸水面積

2. 事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会情勢等の変化 (洪水発生時の影響)

- R3年末時点における、時間雨量65mm程度の降雨(30年に1度程度の確率規模の降雨)発生時の浸水状況
- 整備途上であるため、床上浸水が発生する。

項目		浸水状況
最大浸水深		1.451 m
浸水面積	床下浸水	3,399 ha
	床上浸水	121 ha
	合計	3520 ha
人口	床下浸水	425,082 人
	床上浸水	12,636 人
	合計	437,718 人
世帯数	床下浸水	192,526 世帯
	床上浸水	5,412 世帯
	合計	197,938 世帯

守口調節池の供用開始より、
浸水想定面積が約123ha減少

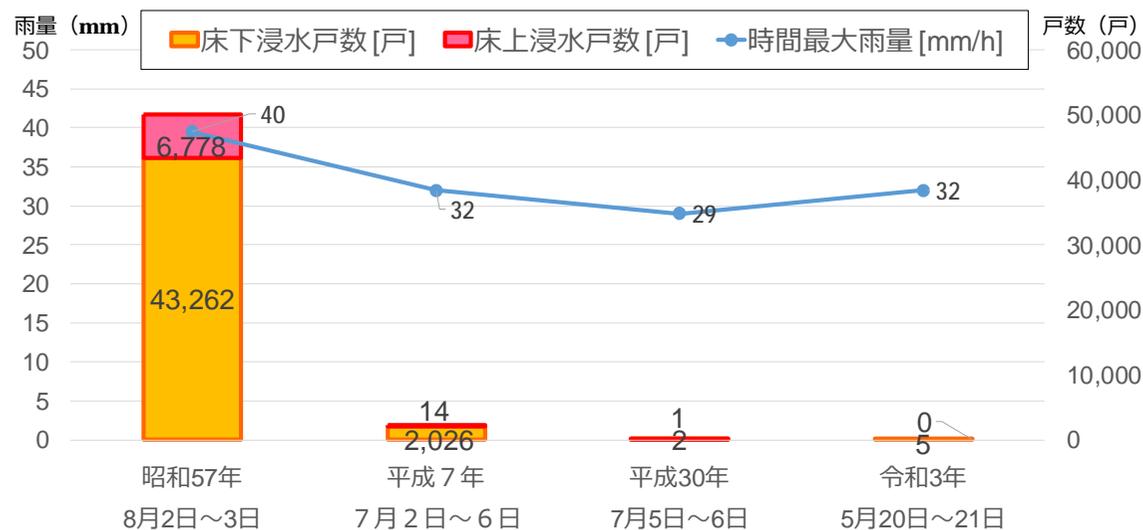


2. 事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会情勢等の変化

■ 主な水害実績

年 月 日	気象要因	時間最大降雨量 (mm)	浸水被害(戸)		
			床上	床下	計
昭和57年 8月2日～3日	台風10号及び低気圧	39.5	6,778	43,262	50,040
平成7年 7月2日～6日	梅雨前線	32.0	14	2,026	2,040
平成30年 7月5日～6日	台風7号及び梅雨前線	29.0	1	2	3
令和3年 5月20日～21日	梅雨前線	32.0	0	5	5



2. 事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会情勢等の変化

■平成24年8月14日豪雨



寝屋川市昭栄町付近



寝屋川市早子町付近



門真市江端町付近



門真市脇田町付近

時間最大 111.0mm、総雨量 159.0mm、床上浸水 2,554戸、床下浸水 17,080戸

2. 事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会情勢等の変化

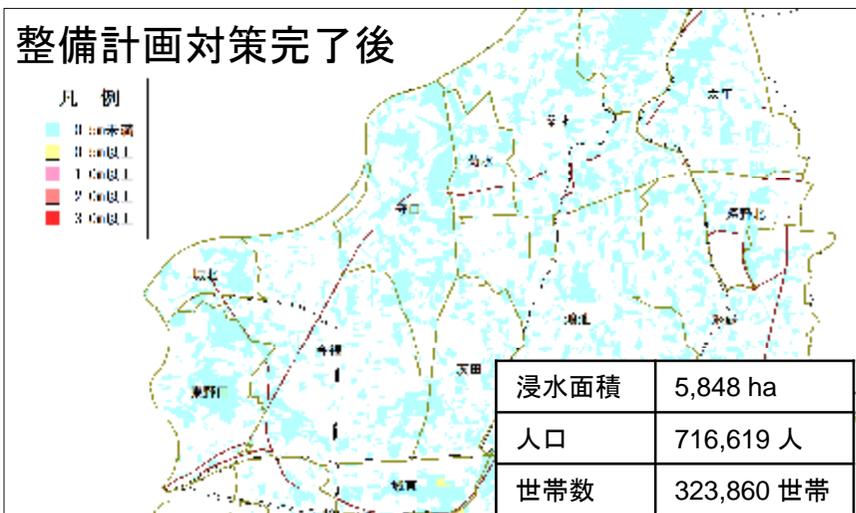
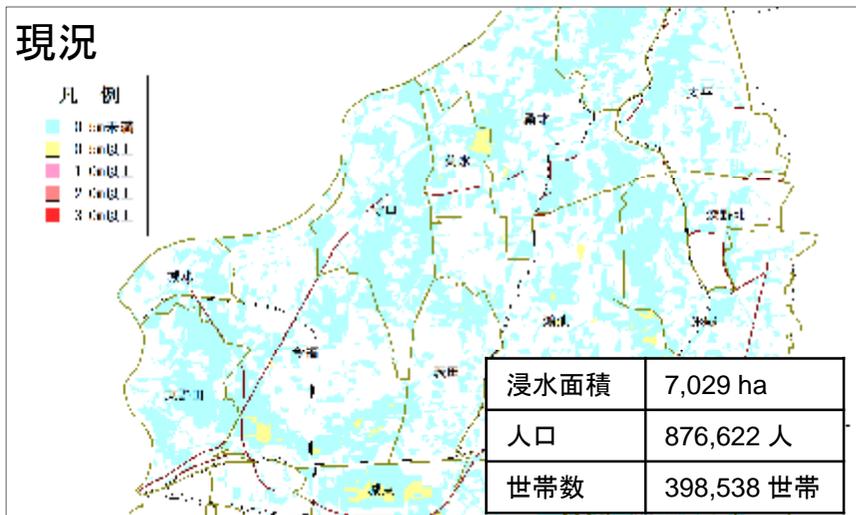
■平成29年7月9日豪雨



いずれも東大阪市内
(提供: 東大阪市府所)

時間最大 104.0mm、総雨量 112.0mm、
床上浸水 15戸、床下浸水 103戸

■八尾実績降雨時の浸水状況



2. 事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会情勢等の変化

○近年、全国的に甚大な浸水被害が頻発するとともに、気候変動の影響により今後、降雨量や洪水発生頻度が増加することが見込まれる。
 ○まずは、治水安全度の向上に向け、現在の河川整備計画で定めた当面の目標をできるだけ早期に達成できるよう取り組むとともに、気候変動への対応を検討するため、府域での過去からの雨量データの検証を行うなどの準備を進める必要がある。

近年の豪雨		被害状況	
平成29年7月	九州北部豪雨	床上浸水366戸 床下浸水1,249戸	・福岡県、大分県を中心に浸水被害が多数発生
平成29年10月	台風第21号	床上浸水2,456戸 床下浸水3,426戸	・【大阪府】 大津川水系牛滝川で土砂崩壊が発生し河道が閉塞し、府道岸和田牛滝山貝塚線が冠水。
平成30年7月	平成30年7月豪雨	床上浸水14,191戸 床下浸水20,629戸	・小田川など26河川で決壊 ・岡山県、広島県、愛媛県を中心に浸水被害が多数発生
令和元年10月	台風第19号 (令和元年東日本台風)	床上浸水33,237戸 床下浸水36,596戸	・千曲川など71河川で決壊 ・関東、東北などの広範囲に浸水被害が多数発生
令和2年7月	令和2年7月豪雨	床上浸水6,985戸 床下浸水6,949戸	・球磨川など3河川で決壊 ・九州、東北などの広範囲に浸水被害が多数発生
令和3年8月	令和3年8月の大雨	床上浸水1,024戸 床下浸水5,531戸	・六角川など68河川で氾濫・浸食による被害が発生 ・九州北部、広島県、長野県など広範囲に浸水被害が多数発生
令和4年8月	令和4年8月の大雨	床上浸水1,710戸 床下浸水4,381戸	・最上川など132河川で氾濫 ・東北、北陸などの広範囲に浸水被害が多数発生
令和4年9月	台風第15号	床上浸水5,195戸 床下浸水4,275戸	・敷地川など28河川で氾濫 ・静岡県、三重県、千葉県などに浸水被害が多数発生

気候変動を踏まえた治水計画のあり方 提言 改訂版【概要】
 <気候変動に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化>

○降雨特性が異なる地域区分ごとに将来の降雨量変化率を計算し、将来の海面水温分布幅の幅や平均深度の非線形変化率等を計算。
 ○2℃上昇した場合の年間雨量変化率は、北海道で1.15倍、その他(沖縄含む)地域で1.1倍。
 ○4℃上昇した場合の年間雨量変化率は、北海道・九州北部で1.4倍、その他(沖縄含む)地域で1.2倍とする。
 ○4℃上昇時には小流域・短時間降雨で影響が大きいため、別途降雨量変化率を設定する。

<地域区分別の降雨量変化倍率>

地域区分	2℃上昇	4℃上昇
北海道北部、北海道南部	1.15	1.4
九州北部	1.1	1.4
その他(沖縄含む)地域	1.1	1.2

○参考> 降雨量変化率をまとめた図表は、気候変動に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化の一水素としての全国平均値

気候変動シナリオ | 降雨量 | 浸食 | 洪水発生頻度

シナリオ	降雨量	浸食	洪水発生頻度
2℃上昇	約1.1倍	約1.2倍	約1.2倍
4℃上昇	約1.2倍	約1.4倍	約1.4倍



令和元年台風19号被害(千曲川)

出典:国土交通省



令和4年8月の大雨被害(最上川)

出典:国土交通省東北地方整備局

2. 事業の必要性等に関する視点

地元等の協力体制 (寝屋川流域協議会)

- 寝屋川流域では、昭和60年から流域の関係者とともに総合治水対策に取り組んでおり、「流域治水」の考え方を全国に先駆けて実践してきた。
- 寝屋川流域の都市化の進展に伴う治水環境、水環境の悪化に対し、適切な治水対策、水環境改善施策及び森林保全施策を推進し、水害・土砂災害の防止及び被害の軽減を図るとともに良好な水環境の創造を図り、もって流域の環境改善に資することを目的として活動を行っている。
- 令和4年3月に「寝屋川ブロック流域治水プロジェクト」を策定。

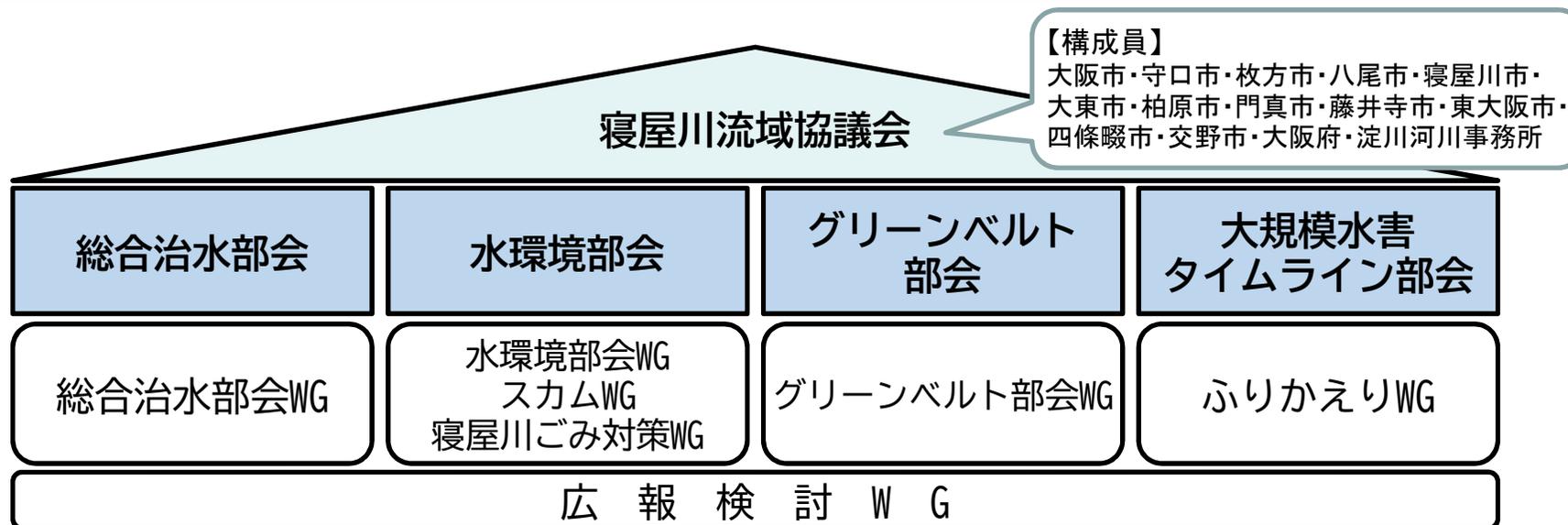
■ 寝屋川流域協議会の沿革

昭和60年11月20日	寝屋川流域都市水防災協議会設立 (平成元年3月29日「寝屋川流域総合治水対策協議会」に名称変更) (平成16年5月10日「寝屋川流域協議会」に名称変更)
昭和63年3月29日	「寝屋川流域都市水防災総合計画」を策定
平成元年3月29日	「寝屋川流域総合治水対策実施方針」、「流域対策に係る開発指導基準」を策定
平成2年5月17日	「寝屋川流域整備計画」を策定
平成5年6月25日	都市計画法第29条の改正に伴う開発指導基準の見直し (流域対策を行う対象行為:市街化区域0.1ha ⇔ 0.05ha)
平成17年12月16日	第22回協議会において「寝屋川流域水害対策計画」の承認(策定:国の同意平成18年2月15日)
平成26年3月25日	第31回協議会において「寝屋川流域水害対策計画(変更案)」の承認

2. 事業の必要性等に関する視点

地元等の協力体制 (寝屋川流域協議会)

○ 令和3年11月に「特定都市河川浸水被害対策法」が改正されたことに伴い、同法第7条に基づく「寝屋川流域協議会」を令和4年5月に設立。流域12市、大阪府、国土交通省で構成し、治水計画や流域対策等について協議検討を進めながら、連携して流域の治水対策に取り組んでいる。



■ 寝屋川流域協議会の主な活動

- ・ 「流域治水プロジェクト」の推進
- ・ 国への予算要望活動
- ・ 広報活動
- ・ 水環境改善に向けた取組み
- ・ 土砂災害防止や森林保全の取組み
- ・ タイムラインの運用



国への予算要望活動

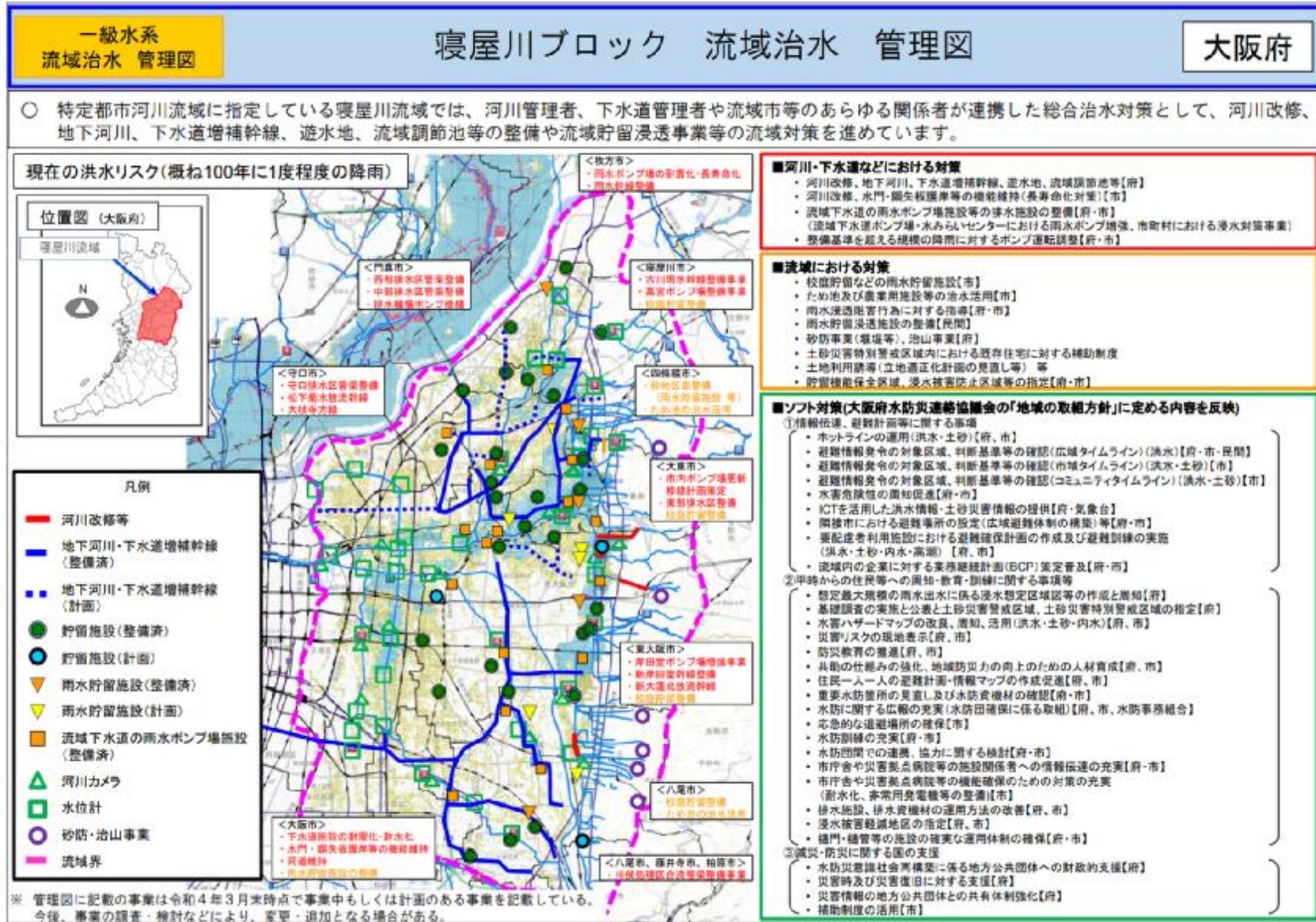


広報活動(施設見学会:松原南調節池)

2. 事業の必要性等に関する視点

地元等の協力体制 (寝屋川流域協議会)

○ 寝屋川流域協議会で流域治水プロジェクトを策定し、進捗管理や情報共有を毎年行い、対策内容の充実・強化やフォローアップを実施しながら、計画的に流域治水を推進していく。



2. 事業の必要性等に関する視点

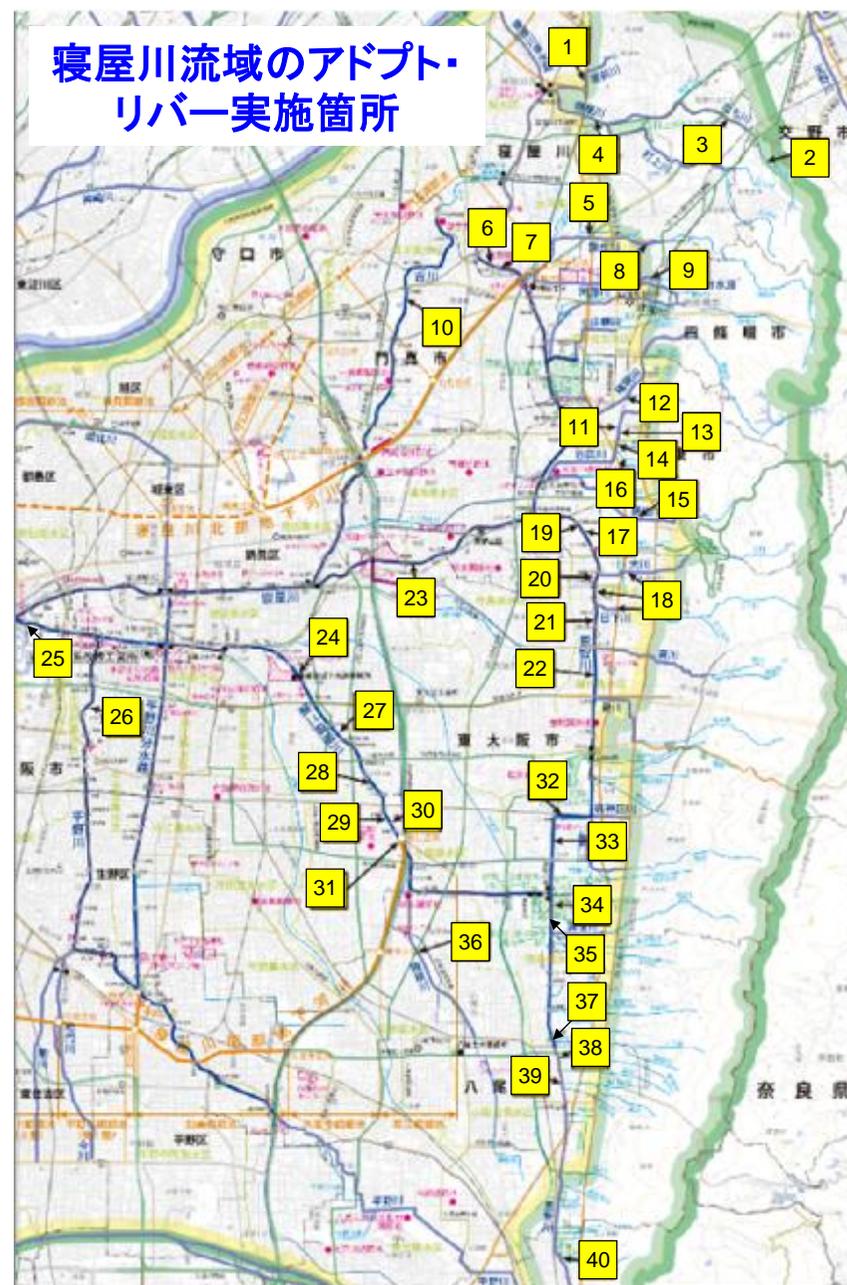
地元等の協力体制

- 〇地域住民が中心となった「アドプト・リバー・プログラム」を実施(登録団体数 40団体(R4.4時点))
- 〇寝屋川流域で、様々な主体(地域住民、団体等)との連携・協力により、美化活動を実施



アドプト・リバー・プログラムにおける活動の様子

※アドプト・リバー・プログラム
地元自治会や企業、市民グループ、学校などに河川の一定区間の清掃や美化活動などを継続的に実施していただき、河川愛護に対する啓発や、河川美化による地域環境の改善、不法破棄の防止などに役立てることをねらいとした取り組み。



出典：寝屋川流域水環境改善計画（令和4年版）

2. 事業の必要性等に関する視点

事業の投資効果(費用便益分析 B/C)

- 前回(平成29年度)評価と同様、「大阪府河川事業・ダム事業の事業評価」(大阪府都市整備部河川室、平成28年7月)及び「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省河川局、令和2年4月)に則り、被害軽減効果を総合治水事業の効果(便益)として算出した。
- 被害軽減効果の算定にあたっては、費用や完成予定年の更新、評価基準年の更新、デフレータの更新を行い、B/Cを算定した。
- 被害軽減効果に治水施設の残存価値を加算し、便益とした。
- 事業費の増加を考慮して費用対効果を算出したところ、前回評価時より若干下がり、算定の結果、今回評価におけるB/Cは8.1となった。

項目	前回評価時点(H29)	今回評価(R4)
B/C	B/C = 8.5 B = 147,010億円 C = 17,384億円 建設費 8,877億円(S63以降) 維持管理費 1,489億円(S63以降)	B/C = 8.1 B = 151,804億円 C = 18,652億円 建設費 10,192億円(S63以降) 維持管理費 4,227億円(S63以降)

- ※ B(便益)およびC(費用)は、基準年(評価年)に現在価値化した金額。
- ※ 維持管理費については、前は、実績からの維持管理費を想定していたが、河川整備計画完成時には、地下河川(大深度区間)、地下河川排水機場等、大規模施設が竣工し、維持管理費が増大する見込み。実績には、地下河川に関わる維持管理費が占める割合が少ないため、治水経済調査で一般的に用いられる建設費の0.5%から得られる維持管理費と実績値から得られる維持管理費の高額となる方を採用。
 施設完成後の維持管理費は、前回評価時の18.4億円/年から51.0億円/年と約33億円の増加。

2. 事業の必要性等に関する視点

事業効果の定性的分析

【安全・安心】

- 寝屋川流域では、当面の治水目標として、時間雨量50mm程度の降雨(10年に1度程度の確率規模の降雨)に対して床下浸水を防ぐとともに、時間雨量65mm程度の降雨(30年に1度程度の確率規模の降雨)に対して床上浸水を防ぐこととしている。
- 平成30年7月の西日本豪雨では、恩智川治水緑地で114万 m^3 、寝屋川南部地下河川で47万 m^3 を貯留。また、令和3年5月の集中豪雨では、寝屋川北部地下河川で容量上限まで貯留するなど、整備してきた治水施設が効果を発揮。
- いずれも平成7年の同規模降雨と比較し、浸水被害が大幅に軽減された。



平成30年7月西日本豪雨
恩智川(花園)多目的遊水地

- ┌ 令和3年5月の集中豪雨では、気象台の5箇所の観測地点（能勢、茨木、枚方、豊中、大阪市中心部）で、1時間雨量などの降水量が5月の観測史上1位の値を更新。
- ┌ 大阪府の観測点でも、60分雨量で30mm程度の降雨を観測。
- ┌ 令和3年3月に供用開始した寝屋川北部地下河川守口調節池（貯留量6.0万 m^3 ）では容量上限まで貯留するなど、治水施設で約148.3万 m^3 を貯留。
- ┌ 浸水面積約548ha、推定被害額587億円の経済損失を防いだ。

2. 事業の必要性等に関する視点

事業効果の定性的分析

【活力】

- 治水事業の着実な推進により治水安全度を向上させ、浸水被害による企業活動の停滞やサプライチェーンの途絶等のリスクを低減することで、活力あるまちづくりを目指す。
- 恩智川では大阪府と流域4市で「恩智川クリーン・リバー・プロジェクト」協定を締結し、流域住民等による清掃活動を支援している。
- 平成15年に発足した寝屋川流域ネットワークにおいて、流域内の各団体同士の情報交換と交流を図るため、団体の活動報告を中心に情報交換を行っている。



恩智川クリーン・リバー・プロジェクトの清掃活動



寝屋川流域ネットワークの活動状況

2. 事業の必要性等に関する視点

事業効果の定性的分析

【快適性】

- 遊水地や河川の整備が、都市部における水と緑の貴重なオープンスペースやゆとり・やすらぎ空間の供出に寄与している。
- 流域市と協力して、親水空間、せせらぎ公園のほか、大和川付替等の河川に係る歴史的遺産、散策コース等の水辺に親しむことのできる水辺空間の整備を進めている。



鴻池水路（東大阪市）



寝屋川せせらぎ公園



散策コースの一例
(上：長瀬川コース、下：大和川付け替え・奈良街道コース)



2. 事業の必要性等に関する視点

事業の必要性等に関する視点における判定(案)

- 現時点で再度、費用対効果を算出したところ、B/Cは8.1であり、事業実施の妥当性を有する投資効果が確認できる。
- また、事業を巡る社会情勢等に大きな変化がないことや、下水道管理者や流域市と連携し総合的な治水対策を推進し、早期に治水効果の発現が望まれていることから、事業の必要性に変わりはない。
- まずは、治水安全度の向上に向け、現在の河川整備計画で定めた当面の目標をできるだけ早期に達成できるように取り組むとともに、気候変動への対応を検討するため、府域での過去からの雨量データの検証を行うなどの準備を進める必要がある。

3. 事業進捗の見込みの視点

■ 寝屋川流域総合治水対策の事業進捗

河川名	番号	工事実施箇所及び区間	事業内容	延長等	事業進捗	備考	
河川	恩智川	①	薬師橋～近鉄信貴線の区間	河川改修	L=1.2km	事業中	外水対策
		②	恩智川(法善寺)多目的遊水地	遊水地	貯留量 7.4万m ³	事業中	
		③	恩智川治水緑池	遊水地	越流堤切下げ		
	大川	④	旧国道170号～上流端	河川改修	L=0.7km	事業中	
	日下川	⑤	中前橋～国道170号の区間	調査・検討	L=0.2km		
	音川	⑥	旧国道170号～芝新橋の区間	河川改修	L=0.4km		
寝屋川北部地下河川	⑦	鶴見調節池	地下河川	L=1.7km	事業中 (平成31年3月、大深度地下使用の認可を取得)	内水対策	
	⑧	都島調節池	地下河川	L=2.9km			
	⑨	排水機場	地下河川	85m ³ /s			
寝屋川南部地下河川	⑩	岸里調節池	地下河川	L=2.2km	事業中 (事業用地買収を推進)		
	⑪	排水機場	地下河川	120m ³ /s			
流域調節池(貯留量約40.0万m ³)	※	萱島B、守口、東野田、四条、中浜東、長吉、片江、その他	調節池	貯留量約 36.00万m ³	事業中 ・布施公園調節池(東大阪市) ・加納元町調節池(東大阪市)		



3. 事業進捗の見込みの視点

事業の進捗状況

北部地下河川(城北立坑):大阪市



法善寺多目的遊水地:柏原市



布施公園調節池:東大阪市



一級河川 恩智川 河川改修:八尾市



3. 事業進捗の見込みの視点

事業の進捗状況

	前回評価時点 (H29)	今回評価 (R4)
事業の 進捗状況	① 昭和63年度 ② 昭和63年度 [平成24年度] ③ 令和26年度	① 昭和63年度 ② 昭和63年度 [平成24年度] ③ 令和26年度
<経過> ①事業採択年度 ②事業着工年度 ③完成予定年度 []内:整備計画	【施設の供用】 ・西郷通調節池:H27.3供用 ・寝屋川北部地下河川 門真調節池:H27.6供用 ・三箇大橋架替:H28.3車道部供用	【施設の供用】 ・三箇大橋架替:H30.4供用 ・寝屋川北部地下河川 守口調節池:R3.3供用
流域基本高水 に対する進捗	89%	91%
全体事業費 に対する進捗	61%(変更後の事業費より算出) 70%(変更前の事業費より算出)	63%(変更後の事業費より算出) 73%(変更前の事業費より算出)

3. 事業進捗の見込みの視点

事業の進捗の見込みの視点における判定

- 寝屋川ブロック河川整備計画(平成27年3月策定)及び大阪府都市整備中期計画(令和3年3月策定)に位置付けて事業を進めており、令和3年度末で事業の進捗率は91%(全体事業費に対しては63%)である。
- 平成30年7月の西日本豪雨や令和3年5月の集中豪雨では、いずれも平成7年の同規模の降雨と比較し、浸水被害が大幅に軽減されるなどの効果を発揮。
- 河川整備計画の目標である、時間雨量65mm程度の降雨(30年に1度程度の確率規模の降雨)では浸水被害が発生することから、引き続き、治水安全度の向上を図るため、寝屋川北部地下河川などの事業を継続することが妥当。

4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点における判定

- 建設コストについては、特に地下河川の流末ポンプ場に多大な費用を要することから、今後のポンプ設備等の技術革新を踏まえ、コスト縮減に努めることが必要。また、将来の維持管理費を見据えたライフサイクルコストの平準化と抑制が必要。

5. 特記事項

流域対応

公共公益貯留事例



民間貯留事例



5. 特記事項

河川防災情報の提供

洪水リスク表示図の開示



- 水防法改正により洪水浸水想定区域図を公表。
- 洪水氾濫・浸水の危険性に対する地域住民の理解を促進するため、寝屋川水系では洪水リスク表示図を公表。
- この表示図では、現況の河道での
 - 1/10確率降雨(50mm/hr、165mm/24hr)
 - 1/30確率降雨(63mm/hr、203mm/24hr)
 - 八尾実績降雨(63mm/hr、311mm/24hr)
 - 想定最大規模降雨(138mm/hr、683mm/24hr)
 の4パターンの氾濫解析結果を危険度(3段階)、浸水深(7段階)の2パターンで表示。

河川カメラや雨量・水位情報を提供

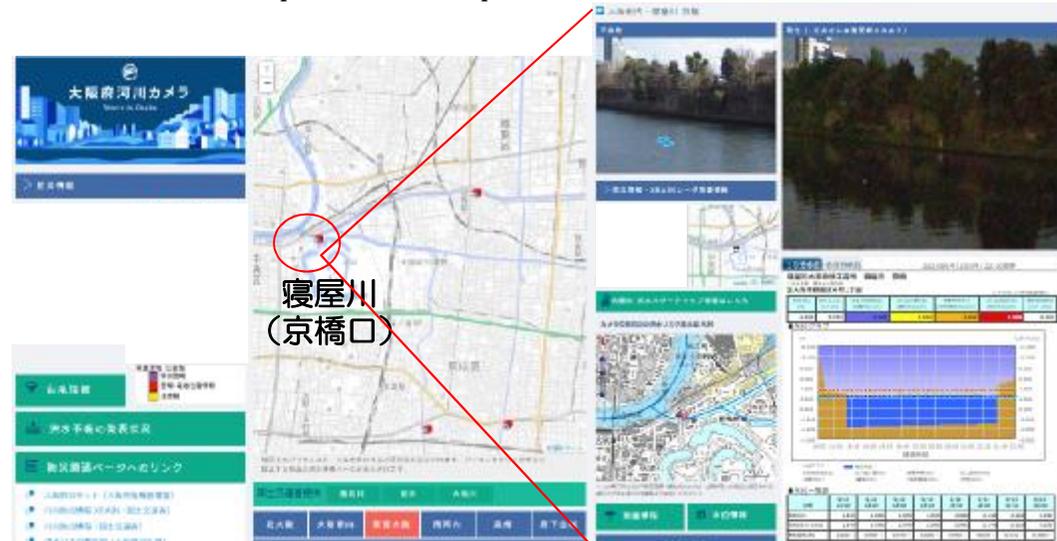
緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。



おおさか防災ネット
<https://www.osaka-bousai.net/>

大阪府河川カメラ

<http://www.osaka-pref-rivercam.info/index.html>



5. 特記事項

ポンプ運転調整ルールへの運用

- 流域12市と大阪府で策定した寝屋川流域水害対策計画で定める(平成26年)。
- 大雨時に下水道ポンプ場からの放流を制限し、河川水位の上昇を抑えることで、堤防の決壊を防ぎ、壊滅的な被害を避けるための最終的な手段として、やむを得ず実施するもの。



5. 特記事項

寝屋川流域大規模水害タイムラインの取組

参加機関 国、府、流域12市、警察、報道機関、ライフライン事業者、鉄道各社

- タイムラインの改善
ふりかえりによる検証を踏まえ、
毎年度タイムラインを改善
(R元年度～R4年度)

- タイムライン運用のふりかえり
(毎年度出水期後)



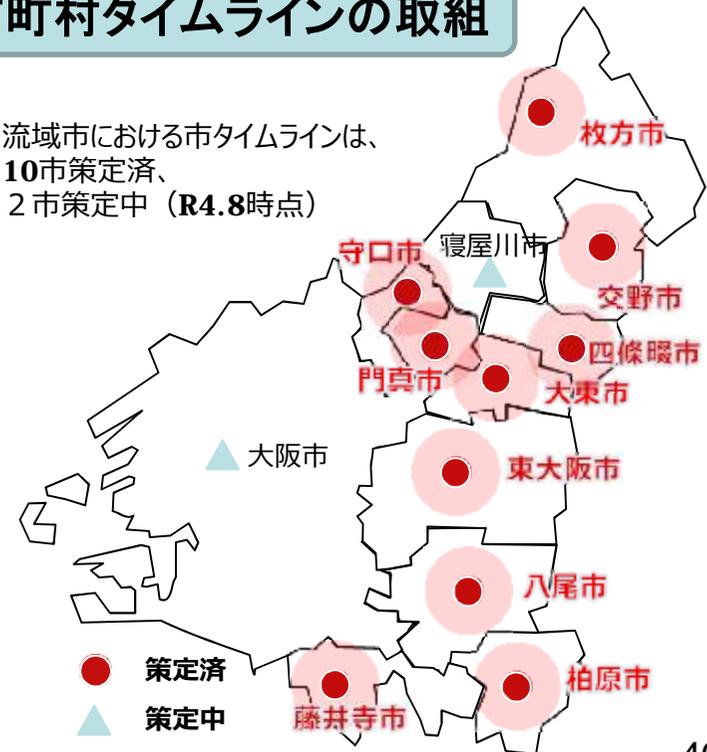
- タイムラインの運用・訓練
運用実績：台風時 11回 (H30.8～R4.8)
訓練実績：2回 (R3.8、R4.5)

- タイムラインの策定



市町村タイムラインの取組

流域市における市タイムラインは、
10市策定済、
2市策定中 (R4.8時点)



地域(コミュニティタイムライン)の取組

流域市におけるコミュニティタイムラインは、
枚方市で1地区作成済 (R4.8時点)



タイムライン作成WS (枚方市)



チラシやDVDを作成し配布

5. 特記事項

施設見学会等の開催

大阪府と流域市が行っている総合治水対策や河川のごみ対策等について知っていただくため、施設見学会等のイベントを実施しています。



松原南調節池



寝屋川北部地下河川
讃良立坑



寝屋川南部地下河川
若江立坑

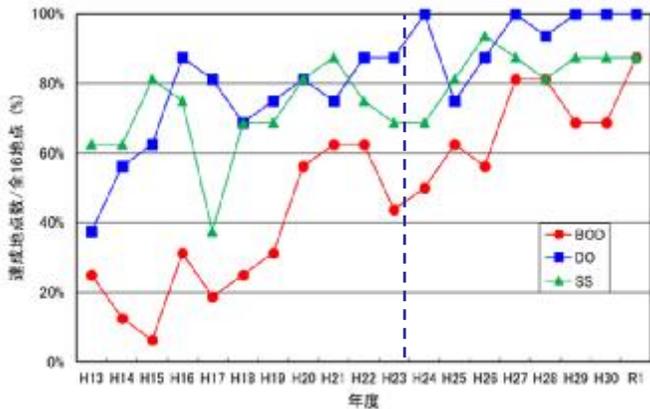


寝屋川南部地下河川

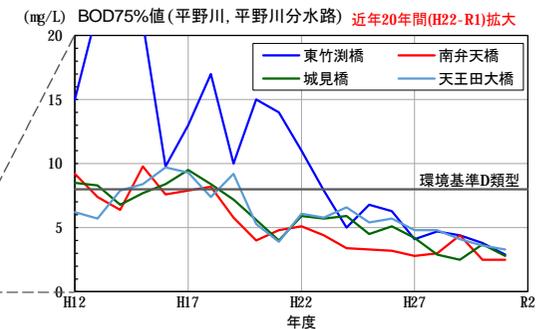
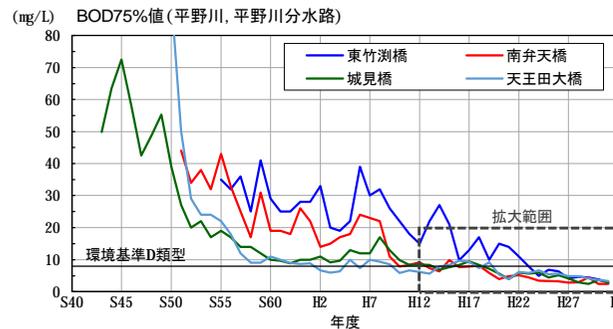
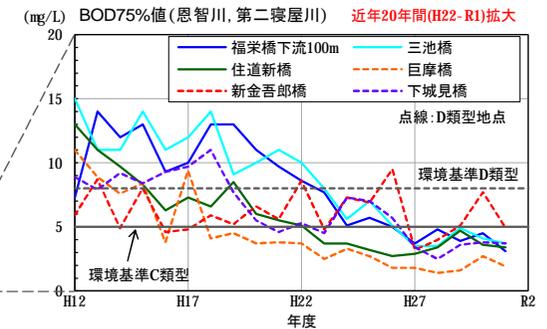
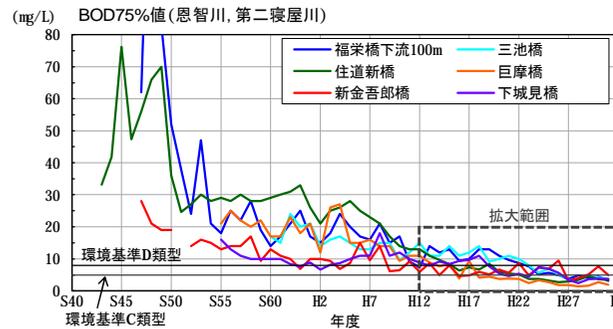
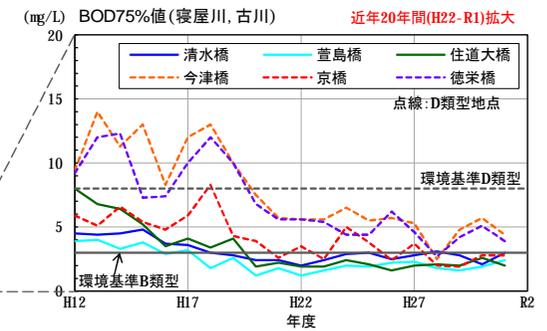
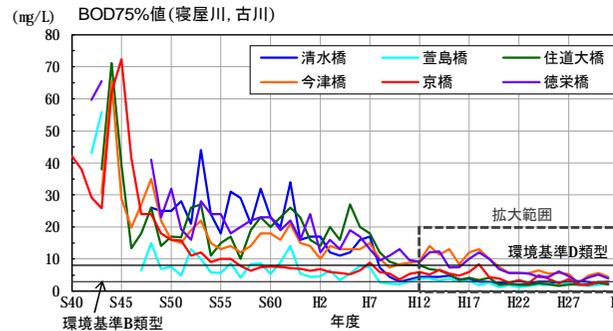
5. 特記事項

河川水質の状況

- 寝屋川流域水環境改善計画では、魚が生息できるような良好な水質及び人が水に触れることを視野に環境基準より高い目標を設定している。
- 昭和50年以前の水質は劣悪であったが、下水道整備の進捗や事業場排水対策の推進などにより、平成27年以降はすべての環境基準点及び準基準点で環境基準を達成している。
- 寝屋川流域水環境改善計画における目標達成には全地点で至っていないものの、年々達成率は上昇している。



寝屋川流域水環境改善計画における目標の達成率



寝屋川流域の主要河川の水質(BOD75%値)の経年変化

出典：寝屋川流域水環境改善計画（令和4年版）

5. 特記事項

河川水質の改善に関する取組

下水道の整備や接続の促進

- ・未処理の生活雑排水が河川等に流入するのを防止するため、下水道の整備や接続の促進を実施
- ・流域平均接続率は平成13年度の85%から徐々に向上し、令和元年度には97%まで上昇

		（%）		
		H13年度末	H23年度末	R1年度末
大阪市	整備率	100.0	100.0	100.0
	接続率	100.0	100.0	100.0
守口市	整備率	99.9	100.0	100.0
	接続率	99.8	100.0	100.0
枚方市	整備率	96.9	99.5	99.8
	接続率	89.1	98.5	99.0
交野市	整備率	98.1	97.6	98.1
	接続率	88.8	94.6	96.2
寝屋川市	整備率	93.4	99.8	99.7
	接続率	83.7	96.4	98.2
四條畷市	整備率	99.7	100.0	100.0
	接続率	82.4	97.6	98.9
東大阪市	整備率	89.2	99.6	99.9
	接続率	77.3	94.2	96.0
大東市	整備率	75.1	98.8	99.4
	接続率	70.3	94.7	97.0
門真市	整備率	74.0	82.0	95.3
	接続率	69.7	80.8	94.9
柏原市	整備率	63.0	85.8	91.5
	接続率	48.8	75.1	83.7
八尾市	整備率	63.0	85.8	94.6
	接続率	47.2	70.8	82.0

流域自治体別 下水道整備率及び接続率

下水処理場における高度処理

- ・河川へ流入する汚濁負荷量を削減するため、下水処理場における高度処理化を推進
- ・流域に放流している10処理場のうち、9処理場で高度処理を実施

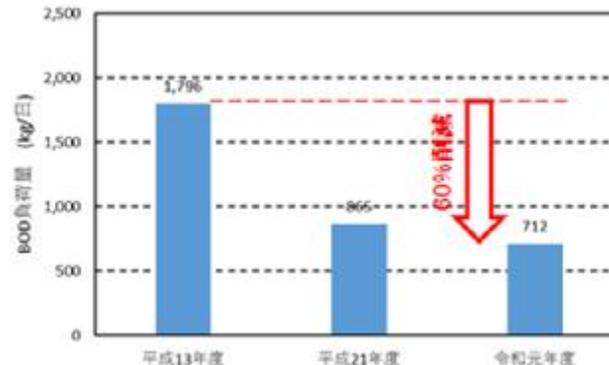
下水処理場名	平成21年度	令和元年度
中浜下水処理場	○	○
守口処理場	-	-
今福下水処理場	-	◎
放出下水処理場	◎	◎
平野下水処理場	◎	◎
鴻池水みらいセンター	○	○
川俣水みらいセンター	○	○
渚水みらいセンター	◎	◎
なわて水みらいセンター	未供用	◎
竜華水みらいセンター	未供用	◎

◎：100%実施、○：実施、-：実施なし

各下水処理場の高度処理の実施状況

事業場排水対策の徹底

- ・規制対象事業場等に対し、法令に基づく排水基準の遵守徹底を指導
- ・平成13年度と比較して、令和元年度では、汚濁負荷量を60%削減



事業場からのBOD負荷量の推移

底泥の浚渫

- ・河川や水路に堆積し、水質汚濁の要因となる底泥の除去(浚渫)を実施



底泥の浚渫

生活排水対策の推進

- ・生活雑排水を未処理で放流している家庭からの排水が流入する河川等では、水質悪化の懸念がある。
- ・そのため、下水道未接続世帯への下水道接続啓発や、浄化槽利用世帯への浄化槽の適正管理等の啓発を実施



生活排水対策の啓発等

5. 特記事項

水生生物の生息状況

○ 寝屋川流域ではボラやコイ、カダヤシなど、汚濁した河川でも生息可能な種が主に生息しているが、コウライモロコといったきれいな水質の指標である種も確認されている。(H29年度大阪市内河川魚類生息状況調査)

寝屋川流域の魚類調査結果(大阪市調査)

生活型	科	魚種	外来魚	寝屋川		第二寝屋川		平野川		平野川分水路		合計	
				H23	H29	H23	H29	H23	H29	H23	H29	H23	H29
純淡水魚	レピステウス	レピステウス属 ^{※1}	○					1				1	
	コイ	オイカワ							1				1
	カダヤシ	カダヤシ	○	1	5	13	29			4	8	18	42
	コイ	ギンブナ			3		1		6		1		11
	コイ	コイ			5	11	15		2	6	4	17	26
	コイ	コウライモロコ		3	3					2		5	3
	コイ	タイリクバラタナゴ	○				1						1
	コイ	タモロコ					1				1		2
	コイ	フナ属 ^{※2}		4	1	21	4	7	15	26	1	58	21
	コイ	モツゴ		1			1	5	1	4	1	10	3
	サンフィッシュ	ブルーギル	○						1				1
	通し回遊魚	アユ	アユ		1							1	1
汽水・海水魚	イセゴイ	イセゴイ						43				43	
	ボラ	ボラ		4		16	2	91	21	3	36	114	59
出現種数(外来魚含む)				6	5	4	8	6	6	6	8	10	11
出現種数(在来魚のみ)				5	4	3	6	4	6	5	7	7	9

※1 レピステウス属はショートノーズガー、スポットテッドガー、フロリダスポットテッドガーのいずれか

※2 フナ属はゲンゴロウブナ、ギンブナのいずれか

※ 黄色セルはR4年度の春季・夏季の調査結果(速報)で確認された種。H23とH29は春季・夏季・秋季・冬季の1年間の結果。



ボラ



コイ



カダヤシ



コウライモロコ

6. 対応方針(原案)

事業の必要性等

- 現時点で再度、費用対効果を算出したところ、B/Cは8.1であり、事業実施の妥当性を有する投資効果が確認できる。また、事業を巡る社会情勢等に大きな変化がないことや、下水道管理者や流域市と連携し総合的な治水対策を推進し、早期に治水効果の発現が望まれていることから、事業の必要性に変わりはない。
- まずは、治水安全度の向上に向け、現在の河川整備計画で定めた当面の目標をできるだけ早期に達成できるよう取り組むとともに、気候変動への対応を検討するため、府域での過去からの雨量データの検証を行うなどの準備を進める必要がある。

事業の進捗の見込み

- 寝屋川ブロック河川整備計画(平成27年3月策定)及び大阪府都市整備中期計画(令和3年3月策定)に位置付けて事業を進めており、令和3年度末で事業の進捗率は91%(全体事業費に対しては63%)である。
- 平成30年7月の西日本豪雨や令和3年5月の集中豪雨では、いずれも平成7年の同規模の降雨と比較し、浸水被害が大幅に軽減されるなどの効果を発揮。河川整備計画の目標である、時間雨量65mm程度の降雨(30年に1度程度の確率規模の降雨)では浸水被害が発生することから、引き続き、治水安全度の向上を図るため、寝屋川北部地下河川などの事業を継続することが妥当である。

コスト縮減や代替案等の可能性

- 地下河川の流末ポンプ場に多大な費用を要することから、今後のポンプ設備等の技術革新を踏まえ、コスト縮減に努めることが必要。また、将来の維持管理費を見据えたライフサイクルコストの平準化と抑制が必要。

事業の継続

令和4年度第1回大阪府河川整備審議会【資料2】の修正について

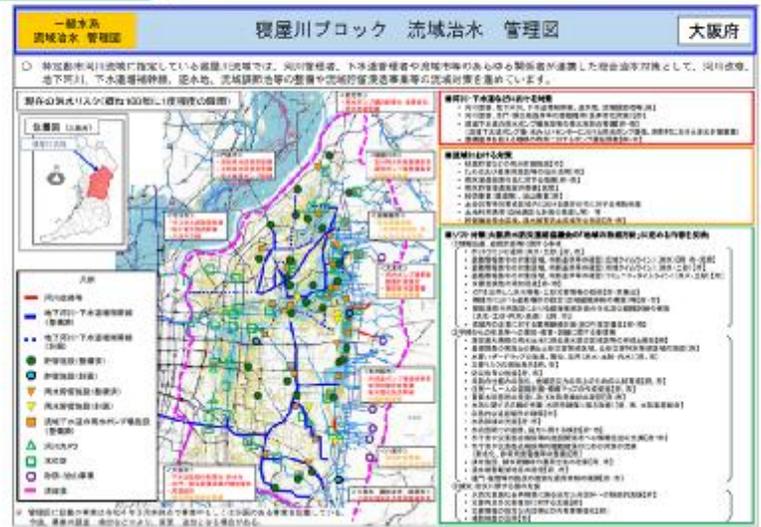
- 令和4年度 第1回 大阪府河川整備審議会【資料2 寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

対照表

	修正前	修正後
ページ	9ページ	9ページ
修正箇所	<ul style="list-style-type: none"> 八尾実績降雨 311.2mm/day 	<ul style="list-style-type: none"> 八尾実績降雨(戦後最大実績降雨) 311.2mm/day <p>【参考】寝屋川流域の雨量</p> <ul style="list-style-type: none"> 10年に1度程度発生する恐れがある雨量: 51.8mm/hr、165.0mm/day 30年に1度程度発生する恐れがある雨量: 62.9mm/hr、203.0mm/day
ページ	15ページ	15ページ
修正箇所	<ul style="list-style-type: none"> 寝屋川流域では、当面の治水目標(令和26年度まで)を、10年に1度程度の確率規模の降雨に対して床下浸水を防ぐとともに、30年に1度程度の確率規模の降雨に対して床上浸水を防ぐこととしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 寝屋川流域では、当面の治水目標(令和26年度まで)を、時間雨量50mm程度の降雨(10年に1度程度の確率規模の降雨)に対して床下浸水を防ぐとともに、時間雨量65mm程度の降雨(30年に1度程度の確率規模の降雨)に対して床上浸水を防ぐこととしている。

令和4年度第1回大阪府河川整備審議会【資料2】の修正について

対照表

	修正前	修正後
ページ	—	30ページ
修正箇所	—	<p>2. 事業の必要性等に関する視点</p> <p>地元等の協力体制 (寝屋川流域協議会)</p> <p>寝屋川流域協議会で流域治水プロジェクトを策定し、進捗管理や情報共有を毎年行い、対策内容の充実・強化やフォローアップを実施しながら、計画的に流域治水を推進していく。</p>  <p>30</p>
ページ	31ページ	33ページ
修正箇所	<p>○ 寝屋川流域では、当面の治水目標として、10年に1度程度の確率規模の降雨に対して床下浸水を防ぐとともに、30年に1度程度の確率規模の降雨に対して床上浸水を防ぐこととしている。</p>	<p>○ 寝屋川流域では、当面の治水目標として、時間雨量50mm程度の降雨(10年に1度程度の確率規模の降雨)に対して床下浸水を防ぐとともに、時間雨量65mm程度の降雨(30年に1度程度の確率規模の降雨)に対して床上浸水を防ぐこととしている。</p>

令和4年度第1回大阪府河川整備審議会【資料2】の修正について

- ・ 令和4年度 第1回 大阪府河川整備審議会【資料2 寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

対照表

	修正前	修正後
ページ	32ページ	34ページ
修正箇所	<p>○ 治水上脆弱な地域の治水安全度向上により土地の質的向上を図り、浸水被害による企業活動の停滞やサプライチェーンの途絶等のリスクを低減することで、活力あるまちづくりを目指す。</p>	<p>○ 治水事業の着実な推進により治水安全度を向上させ、浸水被害による企業活動の停滞やサプライチェーンの途絶等のリスクを低減することで、活力あるまちづくりを目指す。</p>

令和4年度第1回大阪府河川整備審議会【資料2】の修正について

対照表

	修正前	修正後
ページ	33ページ	35ページ
修正箇所	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都市を流れる河川及び遊水地を水と緑の貴重なオープンスペースやゆとり・やすらぎ空間として提供。 ○ 寝屋川流域には、親水空間、せせらぎ公園のほか、大和川付替等の河川に係る歴史的遺産、散策コース等の水辺に親しむことのできる水辺空間が整備されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遊水地や河川の整備が、都市部における水と緑の貴重なオープンスペースやゆとり・やすらぎ空間の供出に寄与している。 ○ 流域市と協力して、親水空間、せせらぎ公園のほか、大和川付替等の河川に係る歴史的遺産、散策コース等の水辺に親しむことのできる水辺空間の整備を進めている。
ページ	34ページ	36ページ
修正箇所	—	<ul style="list-style-type: none"> ○ まずは、治水安全度の向上に向け、現在の河川整備計画で定めた当面の目標をできるだけ早期に達成できるよう取り組むとともに、気候変動への対応を検討するため、府域での過去からの雨量データの検証を行うなどの準備を進める必要がある。

令和4年度第1回大阪府河川整備審議会【資料2】の修正について

対照表

	修正前	修正後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ページ	38ページ	40ページ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
修正箇所	<p>〇 河川整備計画の目標である、30年に1度程度の降雨では浸水被害が発生することから、引き続き、治水安全度の向上を図るため、寝屋川北部地下河川などの事業を継続することが妥当。</p>	<p>〇 河川整備計画の目標である、時間雨量65mm程度の降雨(30年に1度程度の確率規模の降雨)では浸水被害が発生することから、引き続き、治水安全度の向上を図るため、寝屋川北部地下河川などの事業を継続することが妥当。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ページ	46ページ	50ページ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
修正箇所	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">生活型</th> <th rowspan="2">科</th> <th rowspan="2">魚種</th> <th rowspan="2">外来魚</th> <th colspan="2">寝屋川</th> <th colspan="2">第二寝屋川</th> <th colspan="2">平野川</th> <th colspan="2">平野川分水路</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H29</th> <th>H23</th> <th>H29</th> <th>H23</th> <th>H29</th> <th>H23</th> <th>H29</th> <th>H23</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">純淡水魚</td> <td>レビソステウス</td> <td>レビソステウス属</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>オイカワ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カダヤシ</td> <td>カダヤシ</td> <td>○</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>29</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>8</td> <td>18</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>ギンブナ</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>6</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>コイ</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>11</td> <td>15</td> <td></td> <td>2</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>17</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>コウライモロコ</td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>タイリクバラタナゴ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>タモロコ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>フナ属</td> <td></td> <td>4</td> <td>1</td> <td>21</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>26</td> <td>1</td> <td>58</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>モツゴ</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>サンフィッシュ</td> <td>ブルーギル</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通し回遊魚</td> <td>アユ</td> <td>アユ</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">汽水・海水魚</td> <td>イセゴイ</td> <td>イセゴイ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>43</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>43</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボラ</td> <td>ボラ</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>16</td> <td>2</td> <td>91</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>36</td> <td>114</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td colspan="3">出現種数(外来魚含む)</td> <td></td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td colspan="3">出現種数(在来魚のみ)</td> <td></td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>レビソステウス属はショートノーズガー、スポットテッドガー、フロリダスポットテッドガーのいずれか フナ属はゲンゴロウブナ、ギンブナのいずれか</p>	生活型	科	魚種	外来魚	寝屋川		第二寝屋川		平野川		平野川分水路		合計		H23	H29	純淡水魚	レビソステウス	レビソステウス属	○					1				1		コイ	オイカワ						1				1		カダヤシ	カダヤシ	○	1	5	13	29			4	8	18	42	コイ	ギンブナ			3		1		6		1		11	コイ	コイ			5	11	15		2	6	4	17	26	コイ	コウライモロコ		3	3					2		5	3	コイ	タイリクバラタナゴ	○				1						1	コイ	タモロコ					1				1		2	コイ	フナ属		4	1	21	4	7	15	26	1	58	21	コイ	モツゴ		1			1	5	1	4	1	10	3	サンフィッシュ	ブルーギル	○					1				1		通し回遊魚	アユ	アユ		1						1	1	1	汽水・海水魚	イセゴイ	イセゴイ					43				43		ボラ	ボラ		4		16	2	91	21	3	36	114	59	出現種数(外来魚含む)				6	5	4	8	6	6	6	8	10	11	出現種数(在来魚のみ)				5	4	3	6	4	6	5	7	7	9	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">生活型</th> <th rowspan="2">科</th> <th rowspan="2">魚種</th> <th rowspan="2">外来魚</th> <th colspan="2">寝屋川</th> <th colspan="2">第二寝屋川</th> <th colspan="2">平野川</th> <th colspan="2">平野川分水路</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H29</th> <th>H23</th> <th>H29</th> <th>H23</th> <th>H29</th> <th>H23</th> <th>H29</th> <th>H23</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">純淡水魚</td> <td>レビソステウス</td> <td>レビソステウス属^{※1}</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>オイカワ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>カダヤシ</td> <td>カダヤシ</td> <td>○</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>29</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>8</td> <td>18</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>ギンブナ</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td></td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>コイ</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>11</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>コウライモロコ</td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>タイリクバラタナゴ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>タモロコ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>フナ属^{※2}</td> <td></td> <td>4</td> <td>1</td> <td>21</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>26</td> <td>1</td> <td>58</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>コイ</td> <td>モツゴ</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>サンフィッシュ</td> <td>ブルーギル</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通し回遊魚</td> <td>アユ</td> <td>アユ</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">汽水・海水魚</td> <td>イセゴイ</td> <td>イセゴイ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>43</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>43</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボラ</td> <td>ボラ</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>16</td> <td>2</td> <td>91</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>36</td> <td>114</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td colspan="3">出現種数(外来魚含む)</td> <td></td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td colspan="3">出現種数(在来魚のみ)</td> <td></td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 レビソステウス属はショートノーズガー、スポットテッドガー、フロリダスポットテッドガーのいずれか ※2 フナ属はゲンゴロウブナ、ギンブナのいずれか ※ 黄色セルはR4年度の春季・夏季の調査結果(速報)で確認された種。H23とH29は春季・夏季・秋季・冬季の1年間の結果。</p>	生活型	科	魚種	外来魚	寝屋川		第二寝屋川		平野川		平野川分水路		合計		H23	H29	純淡水魚	レビソステウス	レビソステウス属 ^{※1}	○							1			1	コイ	オイカワ									1		1	カダヤシ	カダヤシ	○	1	5	13	29			4	8	18	42	コイ	ギンブナ			3		1				6		11	コイ	コイ			5	11	15			2	6	4	17	コイ	コウライモロコ		3	3					2		5	3	コイ	タイリクバラタナゴ	○				1						1	コイ	タモロコ					1					1	2	コイ	フナ属 ^{※2}		4	1	21	4	7	15	26	1	58	21	コイ	モツゴ		1			1	5	1	4	1	10	3	サンフィッシュ	ブルーギル	○					1				1		通し回遊魚	アユ	アユ		1							1	1	汽水・海水魚	イセゴイ	イセゴイ					43				43		ボラ	ボラ		4		16	2	91	21	3	36	114	59	出現種数(外来魚含む)				6	5	4	8	6	6	6	8	10	11	出現種数(在来魚のみ)				5	4	3	6	4	6	5	7	7	9																
生活型	科					魚種	外来魚	寝屋川		第二寝屋川		平野川		平野川分水路		合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		H23	H29	H23	H29			H23	H29	H23	H29	H23	H29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
純淡水魚	レビソステウス	レビソステウス属	○					1				1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	コイ	オイカワ						1				1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	カダヤシ	カダヤシ	○	1	5	13	29			4	8	18	42																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	ギンブナ			3		1		6		1		11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	コイ			5	11	15		2	6	4	17	26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	コウライモロコ		3	3					2		5	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	タイリクバラタナゴ	○				1						1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	タモロコ					1				1		2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	フナ属		4	1	21	4	7	15	26	1	58	21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	モツゴ		1			1	5	1	4	1	10	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	サンフィッシュ	ブルーギル	○					1				1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	通し回遊魚	アユ	アユ		1						1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	汽水・海水魚	イセゴイ	イセゴイ					43				43																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ボラ		ボラ		4		16	2	91	21	3	36	114	59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
出現種数(外来魚含む)				6	5	4	8	6	6	6	8	10	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
出現種数(在来魚のみ)				5	4	3	6	4	6	5	7	7	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
生活型	科	魚種	外来魚	寝屋川		第二寝屋川		平野川		平野川分水路		合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				H23	H29	H23	H29	H23	H29	H23	H29	H23	H29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
純淡水魚	レビソステウス	レビソステウス属 ^{※1}	○							1			1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	オイカワ									1		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	カダヤシ	カダヤシ	○	1	5	13	29			4	8	18	42																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	ギンブナ			3		1				6		11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	コイ			5	11	15			2	6	4	17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	コウライモロコ		3	3					2		5	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	タイリクバラタナゴ	○				1						1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	タモロコ					1					1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	フナ属 ^{※2}		4	1	21	4	7	15	26	1	58	21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	コイ	モツゴ		1			1	5	1	4	1	10	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	サンフィッシュ	ブルーギル	○					1				1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	通し回遊魚	アユ	アユ		1							1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	汽水・海水魚	イセゴイ	イセゴイ					43				43																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ボラ		ボラ		4		16	2	91	21	3	36	114	59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
出現種数(外来魚含む)				6	5	4	8	6	6	6	8	10	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
出現種数(在来魚のみ)				5	4	3	6	4	6	5	7	7	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

令和4年度第1回大阪府河川整備審議会【資料2】の修正について

- 令和4年度 第1回 大阪府河川整備審議会【資料2 寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

対照表

	修正前	修正後
ページ	49ページ	51ページ
修正箇所	<p>6. 対応方針(原案)</p> <p>対応方針(原案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現時点で再度、費用対効果を算出したところ、B/Cは8.1であり、事業実施の妥当性を有する投資効果が確認できる。また、早期治水効果の発現に向けて、流域市と連携して総合的な治水対策を推進するとともに、事業を巡る社会情勢等に大きな変化がないことから、事業の必要性に変わりはない。 寝屋川ブロック河川整備計画(平成27年3月策定)及び大阪府都市整備中期計画(令和3年3月策定)に位置付けて事業を進めており、令和3年度末で事業の進捗率は91%(全体事業費に対しては63%)である。 平成30年7月の西日本豪雨や令和3年5月の集中豪雨では、いずれも平成7年の同規模の降雨と比較し、浸水被害が大幅に軽減されるなどの効果を発揮。河川整備計画の目標である、30年に1度程度の降雨では浸水被害が発生することから、引き続き、治水安全度の向上を図るため、寝屋川北部地下河川などの事業を継続することが妥当である。 特に地下河川の流末ポンプ場に多大な費用を要することから、今後のポンプ設備等の技術革新を踏まえ、コスト削減に努めることが必要。また、将来の維持管理費を見据えたライフサイクルコストの平準化と抑制が必要。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">事業の継続</p> <p style="text-align: right;">49</p>	<p>6. 対応方針(原案)</p> <p>事業の必要性等</p> <ul style="list-style-type: none"> 現時点で再度、費用対効果を算出したところ、B/Cは8.1であり、事業実施の妥当性を有する投資効果が確認できる。また、事業を巡る社会情勢等に大きな変化がないことや、下水道管理者や流域市と連携し総合的な治水対策を推進し、早期に治水効果の発現が望まれていることから、事業の必要性に変わりはない。 まずは、治水安全度の向上に向け、現在の河川整備計画で定めた当面の目標をできるだけ早期に達成できるよう取り組むとともに、<u>気候変動への対応を検討するため、府域での過去からの雨量データの検証を行うなどの準備を進める必要がある。</u> <p>事業の進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 寝屋川ブロック河川整備計画(平成27年3月策定)及び大阪府都市整備中期計画(令和3年3月策定)に位置付けて事業を進めており、令和3年度末で事業の進捗率は91%(全体事業費に対しては63%)である。 平成30年7月の西日本豪雨や令和3年5月の集中豪雨では、いずれも平成7年の同規模の降雨と比較し、浸水被害が大幅に軽減されるなどの効果を発揮。河川整備計画の目標である、<u>時間雨量65mm程度の降雨(30年に1度程度の確率規模の降雨)では浸水被害が発生することから、引き続き、治水安全度の向上を図るため、寝屋川北部地下河川などの事業を継続することが妥当である。</u> <p>コスト削減や代替案等の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下河川の流末ポンプ場に多大な費用を要することから、今後のポンプ設備等の技術革新を踏まえ、コスト削減に努めることが必要。また、将来の維持管理費を見据えたライフサイクルコストの平準化と抑制が必要。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">事業の継続</p> <p style="text-align: right;">51</p>

令和4年度第1回大阪府河川整備審議会【資料2】の訂正について

- 令和4年度 第1回 大阪府河川整備審議会【資料2 寝屋川流域総合治水対策事業の事業評価について】に一部誤りがありました。ここに謹んでお詫び申し上げますと共に、以下のように訂正いたします。

対照表

	修正前				修正後			
ページ	48ページ				49ページ			
修正箇所	H13年度末 H23年度末 R1年度末 (%)				H13年度末 H23年度末 R1年度末 (%)			
		H13年度末	H23年度末	R1年度末		H13年度末	H23年度末	R1年度末
大阪市	整備率	100.0	100.0	100.0	整備率	100.0	100.0	100.0
	接続率	100.0	100.0	100.0	接続率	100.0	100.0	100.0
守口市	整備率	99.9	100.0	100.0	整備率	99.9	100.0	100.0
	接続率	99.8	100.0	100.0	接続率	99.8	100.0	100.0
枚方市	整備率	96.9	99.5	99.8	整備率	96.9	99.5	99.8
	接続率	89.1	98.5	99.0	接続率	89.1	98.5	99.0
交野市	整備率	98.1	97.6	98.1	整備率	98.1	97.6	98.1
	接続率	88.8	94.6	96.2	接続率	88.8	94.6	96.2
寝屋川市	整備率	93.4	99.8	99.7	整備率	93.4	99.8	99.7
	接続率	83.7	96.4	98.2	接続率	83.7	96.4	98.2
四條畷市	整備率	99.7	100.0	100.0	整備率	99.7	100.0	100.0
	接続率	82.4	97.6	98.9	接続率	82.4	97.6	98.9
東大阪市	整備率	89.2	99.6	99.9	整備率	89.2	99.6	99.9
	接続率	77.3	94.2	96.0	接続率	77.3	94.2	96.0
大東市	整備率	75.1	98.8	99.4	整備率	75.1	98.8	99.4
	接続率	70.3	94.7	97.0	接続率	70.3	94.7	97.0
門真市	整備率	74.0	82.0	95.3	整備率	74.0	82.0	95.3
	接続率	69.7	80.8	94.9	接続率	69.7	80.8	94.9
柏原市	整備率	63.0	85.8	91.5	整備率	63.0	85.8	91.5
	接続率	48.8	75.1	83.7	接続率	48.8	75.1	83.7
八尾市	整備率	63.0	85.8	94.6	整備率	63.0	85.8	94.6
	接続率	47.2	70.8	82.0	接続率	47.2	70.8	82.0
平均	整備率	86.6	95.4	98.0	整備率	86.6	95.4	98.0
	接続率	77.9	91.2	95.1	接続率	77.9	91.2	95.1